

専門教育科目（法律学科フレックス B）

矢印でつながっている科目が関係性の強い科目になります。1年次や2年次においては、将来履修したい科目を念頭に置きつつその基礎となる科目を履修するようにしてください。3年次や4年次においては、これまでの履修状況を踏まえて、それと関係のある科目を履修するようにしてください。ただし、矢印が示す科目間の関係性はあくまでも強い関係性だけです。矢印が繋がっていない場合であっても、ある科目と別の科目が一定の関係をもつことがあります。その意味では、多くの科目を履修することは、法への知見を広くするだけでなく、深くすることにも役立ちます。

なお、履修モデルにおいて将来の進路との関係性が相対的に弱い科目については、科目名を薄くしています。幅広い科目の履修そのものは推奨されるところであり、進路との関係性が弱いからといって履修を推奨しないという趣旨ではありません。

①法律専門職を志望する場合の「履修モデル」

将来の進路として、法曹（弁護士・検察官・裁判官）、司法書士、行政書士等の法律専門職を志望する場合に必要な不可欠となる知識の修得にかかわる科目は以下の通りです。

【選択必修科目】

「物権法」、「債権総論」、「債権各論」、「会社法」は、どの法律専門職を志望する場合でも、履修し、理解することが必要な科目といえます。

そのうえで、目指す進路に応じて、「行政法」、「行政救済法」、「地方自治法」、「社会保障法」、「家族法」、「商法総則・商行為法」、「有価証券法」、「民事訴訟法」、「刑法各論」、「刑事訴訟法」の履修が強く推奨されます。

とくに法曹を目指す学生の【選択必修科目・選択科目】（この説明には選択必修科目と選択科目の両方が含まれることから、ここでの説明に限り科目名の後ろに〔選択必修〕、〔選択〕と記載します）

「労働法」〔選択必修〕、「税法」〔選択必修〕、「環境法」〔選択〕、「国際法」〔選択必修〕、「国際私法」〔選択〕、「経済法」〔選択〕、「知的財産法」〔選択〕、「倒産処理法」〔選択〕は司法試験の選択科目となっている法律であり、法曹を目指すのであればなるべく履修することが望ましいといえます。

【選択科目】

法律専門職を目指す場合、法に関する理解の基礎をしっかりとしたものとし、その理解を深め、さらに、応用力を身につけるために、基礎法学に位置づけられる、「日本法制史」、「西洋法制史」、「法思想史」、「法哲学」、「法社会学」などを受講することが望ましいといえます。国際的な取引を念頭に、「法律時事英語」、「英米法」、「独法」、「仏法」なども履修すれば将来役立つかもしれません。

【基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ】

演習（ゼミナール）は講義と並ぶ「学びの2本柱」です。講義で学んだ知識や理論の理解を一層深め、応用し、習熟・発展させる場が演習です。基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱの履修（応募）を強く推奨します。また、法律専門職にある実務家が担当している科目として実務演習Ⅰ～Ⅲがあります。

専門教育科目（法律学科フレックス B）

大分類	小分類	1年次	2年次	3・4年次
公法系	憲法	憲法★		
	行政法		行政法○	行政法○
	行政訴訟法		行政訴訟法○	行政訴訟法○
	先修科目			
公法系合法				
私法系	民法	民法★		
	民法債権		民法債権○	民法債権○
	民法訴訟法		民法訴訟法○	民法訴訟法○
	先修科目			
刑法系	刑法	刑法★		
	刑事訴訟法		刑事訴訟法○	刑事訴訟法○
	先修科目			
法政系	法の基礎	入門・法と社会○		
	法の原理		法の原理	
	法の歴史	日本法制史	西洋法制史	
	外国法	法律時事英語		
演習系科目				
政治学系	政治学			
	政治学			
	政治学			

※科目名末尾の★印は必修科目であり、○印は選択必修科目である。

※演習科目は学生主体に研究・発表する授業であり、内容は公法・私法・各教員専門など、多岐に亘る。

②公務員を志望する場合の「履修モデル」

「公務員」といっても、その職種等、多種多様であり、採用試験の科目も異なるので、ここでは大枠を示しています。具体的な学修を進める場合、受験を予定する採用試験の試験科目をよく確認してください。

【選択必修科目】

「行政法」、「行政救済法」、「地方自治法」、「物権法」、「債権総論」、「債権各論」、「民事訴訟法」は、ほぼすべての職種の公務員に必要です。

そのうえで、職種により、「税法」、「国際法」、「会社法」、「社会保障法」、「労働法」、「刑法各論」、「刑事訴訟法」も必要な場合があります。

【選択科目】

職種にあわせて、「比較憲法」、「国際紛争解決法」、「担保物権法」、「環境法」、「刑事政策」も関係します。

法律科目ではありませんが、「政治学原論」、「政治史」、「経済原論」、「行政学」、「財政学」、「国際関係論」、「経済政策」、「社会政策」、「比較政治学」から数科目は履修し、公務員として必要な知識・素養を養うとよいでしょう。

【基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ】

演習（ゼミナール）は講義と並ぶ「学びの2本柱」です。講義で学んだ知識や理論の理解を一層深め、応用し、習熟・発展させる場が演習です。基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱの履修（応募）を強く推奨します。

大分類	小分類	1年次	2年次	3・4年次
公法系	憲法	憲法★		
	行政法		行政法○	行政法○
	行政訴訟法		行政訴訟法○	行政訴訟法○
	先修科目			
公法系合法				
私法系	民法	民法★		
	民法債権		民法債権○	民法債権○
	民法訴訟法		民法訴訟法○	民法訴訟法○
	先修科目			
刑法系	刑法	刑法★		
	刑事訴訟法		刑事訴訟法○	刑事訴訟法○
	先修科目			
法政系	法の基礎	入門・法と社会○		
	法の原理		法の原理	
	法の歴史	日本法制史	西洋法制史	
	外国法	法律時事英語		
演習系科目				
政治学系	政治学			
	政治学			
	政治学			

※科目名末尾の★印は必修科目であり、○印は選択必修科目である。

※演習科目は学生主体に研究・発表する授業であり、内容は公法・私法・各教員専門など、多岐に亘る。

専門教育科目（法律学科フレックス B）

③企業への就職を志望する場合の「履修モデル」

企業活動、担当する職務の遂行に係る法律の理解、修得はきわめて重要です。

【選択必修科目】

「税法」、「労働法」、「社会保障法」、「会社法」、「商法総則・商行為法」、「有価証券法」、「物権法」、「債権総論」、「債権各論」、「民事訴訟法」は企業活動に密接にかかわる法律であり、履修することが望ましいといえます。

公法類の中でも、「刑法各論」は、経営者の刑事責任（経済犯罪など）にかかわります。

【選択科目】

企業活動は多岐にわたり、関係する法律も多種多様ですが、「消費者法」、「経済法」、「知的財産法」は多くの企業活動にかかわりをもちうるでしょう。「保険・海商法」が重要になる職業分野もあります。

「倒産処理法」、「民事執行・保全法」は、会社経営や取引先の信用不安が生じたときなどに問題となり、「裁判法」も含め、それを理解しておくことは有益です。不動産関係の仕事に関しては、「担保物権法」・「登記法」、国際的な取引との関係では、「法律時事英語」、外書講読（英書・独書・仏書・中国書）、「国際私法」、「英米法」・「独法」・「仏法」などの外国法、介護・福祉などの分野では「家族法」の知識も役立つでしょう。そのほか、現代の企業活動にとっては、「環境法」の知識はいわば必須といえるかもしれません。

【基礎演習、演習 I・II】

演習（ゼミナール）は講義と並ぶ「学びの2本柱」です。講義で学んだ知識や理論の理解を一層深め、応用し、習熟・発展させる場が演習です。基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱの履修（応募）を強く推奨します。

[illegible]

※科目名末尾の★印は必修科目であり、○印は選択必修科目である。

※教育資料日は学生主体に研究・発表する授業であり、内容は公産・私産・各教員専門など、多岐に亘る。

専門教育科目（法律学科フレックス B）

3 開設科目一覧

対象：法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数										
必修	3科目	12単位	憲法	4	通年		1					★
			民法総則	4	通年		1					
			刑法総論	4	通年		1					
選択必修	3科目	12単位	入門・法と社会	4	通年	A	1					・ 2017年度以前入学生は、2022年度より選択必修科目に変更点があります。必ず「2017年度以前入学生対象今後の履修に関する注意点」を確認した上で履修登録を行ってください。
			行政法	4	通年	A		2				
			物権法	4	通年	A		2				
			債権総論	4	通年	A		2				
			債権各論	4	通年	A		2				
			家族法	4	通年	A		2				
			会社法	4	通年	A		2				
			商法総則・商行為法	4	通年	A		2				
			刑法各論	4	通年	A		2				
			国際法	4	通年	A		2				
			有価証券法	4	通年	A			3			
			民事訴訟法	4	通年	A			3			
			刑事訴訟法	4	通年	A			3			
			行政救済法	4	通年	A			3			
			税法	4	通年	A			3			
			地方自治法	4	通年	A			3			
			労働法	4	通年	A			3			
			社会保障法	4	通年	A			3			
選択	68単位以上	↑	日本法制史	4	通年	A	1					・ 隔年開講
			西洋法制史	4	通年	A	1					
			政治学原論	4	通年	A	1					
			政治史	4	通年		1					
			経済原論	4	通年	A	1					
			行政学	4	通年	A	1					
			法律時事英語	4	通年		1					
			法律学特殊講義1	2	半期		1					
			法律学特殊講義2	2	半期		1					
			法律学特殊講義3	2	半期		1					
			法律学特殊講義4	2	半期		1					
			法律学特殊講義5	2	半期		1					
			比較憲法	4	通年			2				
			刑事政策	4	通年	A		2				
			裁判法	4	通年	A		2				
			英米法	4	通年	A		2				
			独法	4	通年			2				
			仏法	4	通年			2				
			法思想史	4	通年	A		2				
			現代社会と法	4	通年			2				
			法律学特殊講義6	4	通年			2				
			法律学特殊講義7	4	通年			2				
			測量学	4	通年			2	3	4		★

専門教育科目（法律学科フレックス B）

対象：法律学科フレックス B

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	昼夜制限	配当年次			履修不可科目	注意事項	
	科目数	単位数										
選択	68単位以上	▼	基礎演習	4	通年			2			《受講制限》 ・ 1年次秋に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能です。	
			演習Ⅰ	4	通年	A		3			《受講制限》 ・ 2年次秋に行う履修希望者の募集で許可された3年次生のみ、履修可能です。	
			外書講読（英書）	4	通年			3		有	・ 隔年開講	《受講制限》 ・ 4月初回授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。
			外書講読（独書）	4	通年			3		有		
			外書講読（仏書）	4	通年			3		有		
			外書講読（中国書）	4	通年			3		有		
			法社会学	4	通年			3				
			担保物権法	4	通年			3				
			登記法	4	通年			3				
			保険・海商法	4	通年			3				
			国際紛争解決法	4	通年			3				
			国際私法	4	通年			3				
			環境法	4	通年	A		3				
			経済法	4	通年	A		3				
			消費者法	4	通年			3				
			知的財産法	4	通年	A		3		有		
			民事執行・保全法	4	通年	A		3				
			倒産処理法	4	通年	A		3				
			法哲学	4	通年			3				
			財政学	4	通年			3				
			国際関係論	4	通年	A		3				
			経済政策	4	通年			3				
			社会政策	4	通年			3				
			実務演習Ⅰ	4	通年			3			《受講制限》 ・ 4月初回の授業に出席して担当教員から受講許可を得なければ履修できません。	
			実務演習Ⅱ	4	通年			3				
			実務演習Ⅲ	4	通年			3				
			法律学特殊講義8	4	通年			3		有		
			法律学特殊講義9	4	通年			3				
			経済学特殊講義1	2	半期			3	4			
			比較政治学	4	通年			3	4		・ 2019年度以前に他学部履修科目として同名科目を単位修得済みの場合、履修することはできません。 ・ 2019年度以前に他学部履修科目として修得した単位は、他学部履修制限単位数（上限16単位）に含まれます。	
			演習Ⅱ	4	通年	A			4		《受講制限》	

専門教育科目（法律学科フレックス B）

4 履修不可対象科目・廃講科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

また、廃講欄に「※」印のある旧科目名は、開講されません。ただし、廃講科目の単位を修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
知的財産法	知的財産権法	※	令和6（2024） 年度以前
現行科目無し	現代企業論	※	平成31（2019） 年度以前
外書講読（英書）	外書講読Ⅰ（英書）	※	平成29（2017） 年度以前
	外書講読Ⅱ（英書）	※	
外書講読（独書）	外書講読Ⅲ（独書）	※	
	外書講読Ⅱ（独書）	※	
外書講読（仏書）	外書講読Ⅰ（仏書）	※	
	外書講読Ⅱ（仏書）	※	
外書講読（中国書）	外書講読Ⅰ（中国書）	※	平成29（2017） 年度以前
	外書講読Ⅱ（中国書）	※	
法学特殊講義8	法学特殊講義	※	
現行科目無し	新入生演習	※	

他学部履修科目（法律学科フレックス B）

1 履修上の注意

(1) 他学部履修科目とは

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から、所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。

(2) 履修方法

①履修年次

3年次以上を対象とします。

②他学部履修制限単位数

卒業までに修得できる単位数は、**16単位以内**（当年度までの修得済科目・当年度の修得見込科目及び不合格科目を含みますが、単位修得放棄科目は除きます）とします。入学時に従前在学した大学で修得した単位（編入学、再入学および転部転科の場合を除く）の認定、資格取得による単位認定、留学等による認定の単位数と他学部履修科目の単位数を併せて、60単位を超える履修・修得はできません。

なお、フレックス B の学生が、フレックス A 時間帯で他学部履修科目を履修する場合、その単位は、フレックス A 時間帯で修得できる単位数40単位に含まれます。

③履修制限

他学部履修する授業科目の単位は、各年次の年間履修制限単位数に含まれます。

④受講制限

他学部履修科目には、科目ごとに定められた履修定員を超える申し込みがあった場合、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定されます。

⑤修得単位の算入先と科目の認定先

修得した単位は、卒業に必要な専門教育科目の選択科目の単位数に算入されます。令和2（2020）年以前に修得した科目は修得時の指定分野に算入されます。KONECO 成績照会（学業成績表を含む）では【専門教育科目：選択】の欄に掲載されます。なお、「算入」の言葉の意味については、第2章＞「卒業必要単位における修得単位算定の流れ」を確認してください。

⑥「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

(3) 履修登録の流れ

他学部履修科目を履修する場合、下記の手続きが必要となります。

①他学部履修希望科目を決める

※『他学部履修科目授業時間表』『シラバス』を参照し、開講曜日・時限、授業概要等を確認する。



② KONECO で履修登録する（履修登録申込期間より受付開始）

※履修申込者数が履修定員を超えた場合、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定する。



③履修登録完了

※履修申込者数が履修定員に満たなかった他学部履修科目は、履修訂正・抽選結果確認期間に先着順で申込みことができるようになります。

※申し込んだ他学部履修科目の履修を取り消したい場合は、履修訂正・抽選結果確認期間内に KONECO 上で取消を行うこと。



④履修登録内容確定日に、申し込んだ科目が登録されているか KONECO 上で確認する。

(4) KONECO 成績照会画面（学業成績表含む）における他学部履修科目の表示

単位の算入先や他学部履修科目の開講学部にかかわらず、【専門教育科目・選択】の欄へ、「科目名・単位数・評価・修得年度・V（他学部履修に修得であることを示す記号）」が掲載されます。

他学部履修科目（法律学科フレックス B）

2 開設科目一覧

他学部履修科目：法学部法律学科フレックス B

開講学部	開講学科	科目名	単位	開講期	履修上の注意事項	
文学部	社会学科	リスク社会論	2	半期	・隔年開講	
経営学部	経営学科	経営学史	4	通年		
		現代マネジメントⅢ	2	半期		
		企業と社会	4	通年		
		イノベーション論	4	通年		
		経営組織論	4	半期	週2回開講授業となります。	
	市場戦略学科	マーケティング史 A	2	半期	◎	・履修不可対象科目 平成30（2018）年度以前に右記科目で単位を修得済の場合は履修できません。
		マーケティング史 B	2	半期		

政治学科

開設科目一覧の見方

※開設科目一覧のサンプル

①

対象：政治学科

②		③	④		⑤		⑥	⑦	⑧				⑨	⑩		
必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項				
	科目数	単位数														
必修	1科目	4単位		科目 A	4	通年	1						《学生番号指定》 《玉川キャンパス》 《再クラス》			
選択			人文分野	科目 B	4	通年	1	2	3	4						
				科目 C	2	半期	1	2								
				科目 D	2	半期	1	2	3	4	有					
				科目 E	2	半期	1	2	3	4						

※用語等解説

①	対象	開設科目一覧がどの学科を対象としているかを表します。
②	必・選	履修単位の区分（必修・選択必修・選択科目）を表します。
③	卒業必要	卒業に必要な「科目数」と「単位数」を表します。科目数の指定がない場合は、卒業必要単位数に指定された単位数を修得してください。
④	分野	教養教育科目における4分野（人文分野・社会分野・自然分野・ライフデザイン分野）のどの分野に該当しているかを表します。
⑤	科目名	授業科目名を表します。
⑥	単位	授業科目に定められた単位数を表します。
⑦	開講期	授業科目に定められた開講期を表します。 「半期」：前期または後期に始まり、半年間行われる授業 「通年」：前期から始まる1年間通して行われる授業 「集中」：夏季休業期間に約1週間かけて行われる授業 「シーズン」：夏季または冬季休業期間に短期で行われる合宿等を伴う授業
⑧	配当年次	授業科目の履修できる年次を表します。 ・下級年次に配当されている科目は、上級年次に履修可能です。 ・ただし、配当年次以外に斜線が付けられている場合は、指定された年次以外では履修できません。
⑨	履修不可科目	「履修不可対象科目一覧」の記載がある場合は「有」と表記しています。 履修不可対象科目一覧は、対象の入学年次の開設科目一覧の最後に掲載されています。
⑩	注意事項	履修時に必要な注意事項を表します。 ～「受講予約科目」について～ 《学生番号指定》、《受講制限》等の記載がない場合には、原則、受講予約科目であることを示しています。 定員を超えた履修登録申請があった場合に、抽選によって履修者を決定します。 ◎：セットで履修することが望ましいとされている科目です。定員を超えた履修登録申請により抽選が発生した場合には、前後期セットで履修登録した学生は2科目同時当選もしくは2科目同時落選が原則となります。2科目のうちどちらか一方のみを履修登録した場合も、抽選が行われます。※どちらか一方のみ履修登録し、当選した場合でも履修は可能です。 ★：受講予約科目ではありません。 《学生番号指定》：履修するクラスが学生番号で指定されている科目です。学生番号指定については、『授業時間表』で確認できます。 《受講制限》：主に担当教員が自ら履修者数を制限している授業科目です。 《再クラス》：再履修になった場合、再クラスでの履修となります。KONECO 抽選登録が必要な科目は「◎ 抽」が併記されています。詳しくは、第1章 > 履修について >6 再履修の頁を参照してください。 《玉川キャンパス》：玉川キャンパスで授業が行われる授業科目です。 《種目・定員》：保健体育科目について、開講されている種目と定員数です。

●廃講科目について

在籍期間中に廃講となった科目については、「履修不可対象科目・廃講科目一覧」に記載されています。なお、廃講科目の履修単位の区分（必修・選択必修・選択）は KONECO の成績照会画面や大学ホームページに掲載されている過年度履修要項で確認できます。

駒澤大学におけるコース・プログラムについて（政治学科）

駒澤大学では全学共通科目（宗教教育科目、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目）、専門教育科目（学部学科が開設する科目）において、所定の授業科目及び単位数を満たすことにより、一定の学修成果を満たしたことを証明書の発行によって証明しています。幅広く開講されている科目の中で、体系的を伴った履修を行うことにより、学生の皆さんの若々しい知的関心を啓発し、深化させ、涵養する一助とすることを目的としています。以下、コース、プログラムの概要をまとめています。

●駒澤大学におけるコース・プログラムの種類

コース・プログラム名	特徴	登録の方法	備考
駒澤教養パスポート (Komazawa Liberal Arts Program)	全学共通科目（宗教教育科目、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目）を6つの分野区分に再構成し、各分野には幅広い科目を配置した「文理融合型」のプログラムです。各分野から自身の興味・関心に基づき、自由に学ぶことができ、かつ必要な単位数を修得すればプログラム修了証とオープンバッジが発行されます。VUCA に象徴される現代社会で常識に縛られないイノベーション人材となるためには、文理それぞれの知識を学ぶだけでは不十分であり、これを融合したプログラムとなっています。	KONECO の「コース登録画面」にて学生各自がコースを選択し、登録してください。	コース登録は卒業要件を満たすための条件ではありません。
教養特別履修 ※	全学共通科目（教養教育科目、外国語科目）において、所定の授業科目及び単位数を満たすことにより、その科目区分において一定の学修成果を満たしたことを証明書の発行によって証明するコース。		
データサイエンス・AI 教育プログラム	データや AI の特性を正しく把握し、その利点とリスクを評価し、課題解決に向けて適切なアプローチ方法を見い出す能力、多様な学部教育による知識や価値観をベースに、人とのつながりを大切に社会を実現するためにデータや AI を活用する能力を養うプログラム。		

※教養特別履修を実施しているのは仏教学部、文学部、経済学部、法学部、グローバル・メディア・スタディーズ学部です。

実施していない学部学科もあるので、注意してください。

※独自にコースを設定している学部学科があります。第2章専門教育科目の箇所を確認してください。

●成績発表

前期は8月下旬・後期は2月中旬に KONECO により成績発表が行われますので、科目修得状況を確認してください。

●証明書の発行

登録済みのコースにおける必要科目を取得した場合、下記の期間において証明書を教務部ロビーの証明書自動発行機より発行します。

●各コース・プログラムの登録期間

前期 4月22日（火）～7月22日（火）

後期 9月24日（水）～1月10日（土）

●各証明書の発行期間

前期 9月16日（火）～

後期 3月11日（水）～

（注意）卒業年次生は卒業式当日までの発行となります。

3月末～4月2日までは、証明書自動発行機の停止期間となりますので、注意してください。

「駒澤教養パスポート」と「データサイエンス・AI 教育プログラム」はオープンバッジでの証明書も発行します。

オープンバッジとは？

オープンバッジは、国際的な技術標準であるオープンバッジ規格に則った、知識・スキル・経験のデジタル証明です。ブロックチェーン技術により、オンライン上で簡単かつ瞬時に有効性を検証できるので、信頼性の高い証明となります。SNS やメールの署名、デジタル履歴書などに貼り付けて修得した能力や知識を可視化・証明することで、就職活動など対外的にアピールできるようになります。

●注意事項

各コース・プログラム修了のために取得した単位数は卒業に必要な単位数に含まれますが、**卒業要件を満たすための必須事項ではありません**。各コース・プログラム証明書を発行するためには、所定の期間内に KONECO での登録を済ませておく必要があります。

駒澤教養パスポートについて（政治学科）

「駒澤教養パスポート」(Komazawa Liberal Arts Program) の概要

全学共通科目（宗教教育科目、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目）を6つの分野区分に再構成し、各分野には幅広い科目を配置した「文理融合」型のプログラムです。「建学の理念科目」「複数言語教育、外国語教育」「数理教育、自然科学教育、情報教育」「多文化理解教育」「日本語リテラシー教育」「教養ゼミ」と新たに分類しました。「教養ゼミ」では、学部学科のゼミとは別に教養としてのゼミも学ぶことが出来ます。様々な分野の科目の学びを通して、考える引き出しを増やし、学生生活の充実に役立ててください。

プログラム修了必要な各分野と特徴

プログラムの各分野	分野の特徴	プログラム修了に必要な単位数
①「仏教」の教えと「禅」の精神に基づく初年次教育 (建学の理念)	「仏教」の教えと「禅」の精神に基づく教育科目です。本学は、禅宗の一派である曹洞宗が設置した大学であるため、本学に入学した学生全員が「仏教と人間」を学びます。仏教および禅の基本的な歴史や教義について概説するとともに、仏教が広がった地域社会の生活や文化に与えた影響などについても学びます。また、これらの視点から、人間が生きていくうえで直面するさまざまな問題についても考えることが出来ます。	4
②世界のコトバに出逢う (複数言語教育、外国語教育)	世界の主要言語を学ぶことが出来ます。外国の文化や文学を学ぶ科目も用意されており、世界の様々な言葉に触れて新たな魅力を発見しましょう！	6
③数理・自然科学のセンスを磨く (数理教育、自然科学教育、情報教育)	データサイエンス・AIの基本的知識を身に付けてもらうための科目だけでなく、数学関連科目も用意しています。さらに社会でのニーズが高まっている統計分析も学ぶことが出来ます。今は「文理融合」型人材が社会で求められていますので、本学では理系科目も入学後に様々履修できるよう多数の科目を用意しています。	2
④様々な文化への理解を深める (多文化理解教育)	最も身近な駒澤大学の歴史に始まり、日本や世界の歴史、日本の文化や倫理観、世界の宗教や文化を学ぶことが出来ます。ダイバーシティ（多様性）の時代だからこそ、様々な文化や考え方に触れ多文化理解を深めましょう！	2
⑤日本語表現を磨く (日本語リテラシー教育)	大学生として求められる文書作成能力を養うと共に、自分の考えを的確に表現する（他者に伝える）力を身に付けてもらいます。自己理解・他者理解を実践し、社会生活を送るうえでの必要な考え方の再認識を行い、コミュニケーションスキルの向上や日本語の文章表現方法を学びましょう！	
⑥教養ゼミ	少人数クラスで議論や発表を行う科目です。コミュニケーション能力のさらなる向上や様々な考え方に触れることで、社会で役に立つ能力が身につきます。所属する学部学科のゼミとは一味違った教養教育のゼミで新たな課題発見力・課題解決力を身につけましょう！	

プログラムの修了要件

- ①「「仏教」の教えと「禅」の精神に基づく初年次教育」から4単位、②「世界のコトバに出逢う」から6単位、③「数理・自然科学のセンスを磨く」から2単位、④「様々な文化への理解を深める」⑤「日本語表現を磨く」⑥「教養ゼミ」から2単位、必要な単位を修得してください。

「駒澤教養パスポート」プログラムを修了すると、修了証とオープンバッジが授与されます。

履修科目登録

コースの取得条件を確認し、必要な科目の登録をしてください。

既修得科目も含みコース認定科目として取り扱います。必要な科目は計画的に修得してください。

前期は履修訂正・抽選結果確認期間、後期は後期履修登録・訂正期間終了後の科目追加登録はできませんので、必要な科目が不足しないよう注意してください。

コース登録

登録期間に、KONECOの登録画面より登録してください。

日程については「駒澤大学におけるコース・プログラムについて」で確認してください。

駒澤教養パスポートについて（政治学科）

駒澤教養パスポート（Komazawa Liberal Arts Program）の開設科目一覧

修了に必要な 単位数	分野	配置科目	単位	開 講 期	配当年次				備考
↑ 4 単位 ↓	①「仏教」の教えと「禅」の精神に 基づく初年次教育（建学の理念）	仏教と人間	4	通年	1	2	3	4	
6 単位	②世界のコトバに出逢う （複数言語教育、外国語教育）	英語 I A a / I A b	各1	半期	1				
		英語 I B a / I B b	各1	半期	1				
		ドイツ語 I A a / I A b	各1	半期	1				
		ドイツ語 I B a / I B b	各1	半期	1				
		フランス語 I A a / I A b	各1	半期	1				
		フランス語 I B a / I B b	各1	半期	1				
		中国語 I A a / I A b	各1	半期	1				
		中国語 I B a / I B b	各1	半期	1				
		スペイン語 I A a / I A b	各1	半期	1				
		スペイン語 I B a / I B b	各1	半期	1				
		ロシア語 I A a / I A b	各1	半期	1				
		ロシア語 I B a / I B b	各1	半期	1				
		朝鮮語 I A a（選） / I A b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		朝鮮語 I B a（選） / I B b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		ドイツ語 I A a（選） / I A b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		ドイツ語 I B a（選） / I B b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		フランス語 I A a（選） / I A b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		フランス語 I B a（選） / I B b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		中国語 I A a（選） / I A b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		中国語 I B a（選） / I B b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		スペイン語 I A a（選） / I A b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		スペイン語 I B a（選） / I B b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		ロシア語 I A a（選） / I A b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		ロシア語 I B a（選） / I B b（選）	各1	半期	1	2	3	4	
		外国文化（1）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文化（2）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文化（3）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文化（4）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文化（5）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（3）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（4）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（5）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（6）	2	半期	1	2	3	4	
		外国文学を学ぶ（7）	2	半期	1	2	3	4	
2 単位	③数理・自然科学のセンスを磨く （数理教育、自然科学教育、情報教育）	データサイエンス・AI入門	2	半期	1	2	3	4	
		ICTリテラシー	2	半期	1	2	3	4	
		プログラミング初級	2	半期	1	2	3	4	
		プログラミング入門	2	半期	1	2	3	4	
		自然科学へのいざない	2	半期	1	2	3	4	
		生物学の基礎	2	半期	1	2	3	4	
		化学の基礎	2	半期	1	2	3	4	
		物理の基礎	2	半期	1	2	3	4	
		確率・統計学入門	2	半期	1	2	3	4	
		確率・統計学発展	2	半期	1	2	3	4	
		数学の基礎	2	半期	1	2	3	4	

駒澤教養パスポートについて（政治学科）

修了に必要な 単位数	分野	配置科目	単 位	開 講 期	配当年次				備考
2 単 位	③数理・自然科学のセンスを磨く (数理教育、自然科学教育、情報教育)	線型代数学入門	2	半期	1	2	3	4	
		線型代数学発展	2	半期	1	2	3	4	
		微積分学入門	2	半期	1	2	3	4	
		微積分学発展	2	半期	1	2	3	4	
		統計学の基礎	2	半期	1	2	3	4	
		統計的分析を考える	2	半期	1	2	3	4	
2 単 位	④様々な文化への理解を深める (多文化理解教育)	人間と教育	2	半期	1	2	3	4	
		現代教育を考える	2	半期	1	2	3	4	
		日本文化の基礎	2	半期	1	2	3	4	
		スポーツ科学で学ぶ教養（文化）	2	半期	1	2	3	4	
		スポーツ科学で学ぶ教養（自然）	2	半期	1	2	3	4	
		スポーツ科学で学ぶ教養（健康）	2	半期	1	2	3	4	
		スポーツ科学で学ぶ教養（余暇）	2	半期	1	2	3	4	
		スポーツ科学で学ぶ教養（歴史と 社会Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	
		スポーツ科学で学ぶ教養（歴史と 社会Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	
		世界の宗教（１）	2	半期	1	2	3	4	
		世界の宗教（２）	2	半期	1	2	3	4	
		民族と文化（１）	2	半期	1	2	3	4	
		民族と文化（２）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（１）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（２）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（３）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（４）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（５）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（６）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（７）	2	半期	1	2	3	4	
		倫理学（８）	2	半期	1	2	3	4	
		駒澤大学の歴史	2	半期	1	2	3	4	
	⑤日本語表現を磨く (日本語リテラシー教育)	日本語リテラシー（１）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー（２）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー（３）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー（４）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー（５）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー（６）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー（７）	2	半期	1	2			
		日本語リテラシー特講（１）	2	半期	1	2	3	4	
		日本語リテラシー特講（２）	2	半期	1	2	3	4	
		日本語リテラシー特講（３）	2	半期	1	2	3	4	
		日本語リテラシー特講（４）	2	半期	1	2	3	4	
	⑥教養ゼミ	教養ゼミ（１）	2	半期	1	2			
		教養ゼミ（２）	2	半期	1	2			
		教養ゼミ（３）	2	半期	1	2			
		教養ゼミ（４）	2	半期	1	2			
		教養ゼミ（５）	2	半期	1	2			
		教養発展ゼミ（１）	2	半期			3	4	
		教養発展ゼミ（２）	2	半期			3	4	
		教養発展ゼミ（３）	2	半期			3	4	
		教養発展ゼミ（４）	2	半期			3	4	
		教養発展ゼミ（５）	2	半期			3	4	

データサイエンス・AI 教育プログラムについて（政治学科）

●目的

- ・データやAIの特性を正しく把握し、その利点とリスクを評価し、課題解決に向けて適切なアプローチ方法を身につける
- ・多様な学部教育による知識や価値観をベースに、人とのつながりを大切にしたい社会を実現するためにデータやAIを活用する能力を身につける

※プログラム修了のために修得した単位数は卒業に必要な単位数に含まれますが、卒業要件を満たすための必須事項ではありません。

※プログラム修了証を発行するためには、所定の期間内にプログラムの登録を済ませておく必要があります。

●プログラム修了証発行までの流れ

履修科目登録

プログラムに必要な科目の確認・登録をしてください。既修得科目も含みプログラム認定科目として取り扱います。必要な科目は計画的に修得してください。

前期は履修訂正・抽選結果確認期間、後期は後期履修登録・訂正期間終了後の科目追加登録はできませんので、必要な科目が不足しないよう注意してください。

プログラム登録

登録期間に、KONECOの「コース>教育プログラム」画面より登録してください。

プログラム修了に必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、登録期間終了後になります。

日程については「駒澤大学におけるコース・プログラムについて」で確認してください。

成績発表

前期は8月下旬・後期は2月中旬にKONECOにより成績発表が行われますので、科目修得状況を確認してください。

プログラム修了証の発行

必要科目を修得した場合、プログラム修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機より発行します。

●文部科学省による認定制度

当プログラムは、文部科学省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の【リテラシーレベル】に認定されています。

データサイエンス・A I 教育プログラムについて（政治学科）

データサイエンス・A I 教育プログラムの科目一覧

レベル	必要 単 位 数	分野	配置科目	廃 講	単 位	開 講 期	配当年次				備考
リテラシーレベル	↑ 2 単位 ↓	コア科目	データサイエンス・A I 入門		2	半期	1	2	3	4	プログラムを修了するために、必ず修得しなければならない科目
	↑ 2 単位 ↓	オプ シ ョ ン 科 目	数学の基礎		2	半期	1	2	3	4	左記の科目から必要単位数を修得してください
			確率・統計学入門		2	半期	1	2	3	4	
			確率・統計学発展		2	半期	1	2	3	4	
			数学Ⅳ a	※	2	半期	1	2	3	4	
			数学Ⅳ b	※	2	半期	1	2	3	4	
			数学Ⅳ	※	2	半期	1	2	3	4	
			プログラミング入門		2	半期	1	2	3	4	
			プログラミング初級		2	半期	1	2	3	4	
			コンピュータ応用Ⅰ	※	2	半期	1	2	3	4	
			コンピュータ応用Ⅱ	※	2	半期	1	2	3	4	

「廃講」の欄に※がついている科目は現在開講されていないため、履修することはできません。

●履修不可対象科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

なお、旧科目名の単位を修得済みの場合は現行科目を修得したものとして取り扱います。

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
確率・統計学入門	数学Ⅳ a	※	令和 2 〈2020〉 年度以前
	数学Ⅳ b		
確率・統計学発展	数学Ⅳ a	※	
	数学Ⅳ b		
プログラミング入門	コンピュータ応用Ⅰ	※	
プログラミング初級	コンピュータ応用Ⅱ	※	

教養特別履修について（政治学科）

教養特別履修について

全学共通科目において、所定の授業科目及び単位数を満たすことにより、その科目区分において一定の学修成果を満たしたことを「コース修了証」の発行によって証明します。幅広く開講されている全学共通科目の中で、体系性を伴った履修を行うことにより、学生の皆さんの若々しい知的関心を啓発し、深化させ、涵養する一助とすることを目的としています。コース修了のために取得した単位数は卒業に必要な単位数に含まれますが、卒業要件を満たすための必須事項ではありません。

コース修了証を発行するためには、所定の期間内に教養特別履修の登録を済ませておく必要があります。

●教養特別履修コース修了証発行までの流れ

履修科目登録

コース毎の取得条件を確認し、希望するコースに必要な科目の登録をしてください。

既修得科目も含みコース認定科目として取り扱います。必要な科目は計画的に修得してください。

前期は履修訂正・抽選結果確認期間、後期は後期履修登録・訂正期間終了後の科目追加登録はできませんので、希望するコースに必要な科目が不足しないよう注意してください。

コース登録

登録期間に、KONECOの「教養特別履修登録」画面より、希望コースを登録してください。

学部・学科により選択できる開講コースが異なります。

希望コースに必要な科目の履修・修得状況の確認期間は、登録期間終了後になります。

日程については「駒澤大学におけるコース・プログラムについて」で確認してください。

成績発表

前期は8月下旬・後期は2月中旬に KONECO により成績発表が行われますので、科目修得状況を確認してください。

コース修了証の発行

登録済みのコースにおける必要科目を取得した場合、コース修了証を教務部ロビーの証明書自動発行機より発行します。

●教養特別履修コースの種類

コース名	目標	備考
「教養特別履修（日本文化）」	日本文化について深い理解と探求心を持つ人物を養成する。	※「教養特別履修該当科目一覧」は、教養教育科目の最後に掲載しています。
「教養特別履修（自然科学）」	高校では学ぶ機会の少ない自然科学分野の科目を体系的に履修し、オールラウンドな自然科学の基礎知識を身につける。	
「教養特別履修（英語）」	体系的に外国語科目を学ぶことを目標とする。	※「教養特別履修該当科目一覧」は、外国語科目の最後に掲載しています。
「教養特別履修（ドイツ語）」		
「教養特別履修（フランス語）」		
「教養特別履修（中国語）」		
「教養特別履修（スペイン語）」		
「教養特別履修（ロシア語）」		

宗教教育科目（政治学科）

1 履修上の注意

- ①宗教教育科目は、全学共通科目として設置され、必修科目と選択科目に分かれており、定められた単位を修得しなければなりません。
- ②同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって内容が異なる場合があります。詳細は KONECO 掲載の『シラバス』を参照してください。
- ③選択科目として修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます（科目の認定先は、宗教教育科目）。
- ④「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

2 開設科目一覧

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数									
必修	1科目	4単位	仏教と人間	4	通年	1					《学生番号指定》 《再クラス○抽》
選択			文化と宗教（1）	2	半期	1	2	3	4		
			文化と宗教（2）	2	半期	1	2	3	4		
			社会と宗教（1）	2	半期	1	2	3	4		
			社会と宗教（2）	2	半期	1	2	3	4		
			自然と宗教（1）	2	半期	1	2	3	4		
			自然と宗教（2）	2	半期	1	2	3	4		
			坐禅	2	半期	1	2	3	4		

教養教育科目（政治学科）

1 履修上の注意

- ①教養教育科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目として定められた単位を修得しなければなりません。
- ②教養教育科目は、人文分野、社会分野、自然分野及びライフデザイン分野に分かれています。
- ③同一名称の科目でも、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、KONECO 掲載の『シラバス』を参照してください。
- ④「卒業に必要な単位数」の指定を超えて修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます（科目の認定先は、教養教育科目の各分野）。
- ⑤「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

2 開設科目一覧

対象：政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4		
選択必修	16	単位	人文分野	日本文化の基礎	2	半期	1	2	3	4	有	
				人文地理学の基礎（1）	2	半期	1	2	3	4	有	
				人文地理学の基礎（2）	2	半期	1	2	3	4	有	
				日本文学を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文学を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文学を学ぶ（3）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文学を学ぶ（4）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（3）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（4）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（5）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（6）	2	半期	1	2	3	4		
				外国文学を学ぶ（7）	2	半期	1	2	3	4		
				日本史を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4		
				日本史を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4		
				日本史を学ぶ（3）	2	半期	1	2	3	4		
				日本史を学ぶ（4）	2	半期	1	2	3	4		
				世界史を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4		
				世界史を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4		
				考古学を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4		
				考古学を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4		
				日本の詩歌を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4		
				日本の詩歌を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4		
				大衆文化を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4	有	
				大衆文化を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4	有	
				英語圏文化を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4	有	
				英語圏文化を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4	有	
				教育心理を学ぶ（1）	2	半期	1	2	3	4	有	
				教育心理を学ぶ（2）	2	半期	1	2	3	4	有	
				伝統文化入門（1）	2	半期	1	2	3	4	有	
				伝統文化入門（2）	2	半期	1	2	3	4	有	

教養教育科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4		
選択必修	16	単位	人文分野	古典芸能入門（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				古典芸能入門（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				近現代の文化入門（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				近現代の文化入門（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				子どもと文化入門（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				子どもと文化入門（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				日本美術（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				日本美術（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				西洋美術（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				西洋美術（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				音楽（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				音楽（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				科学史（１）	2	半期	1	2	3	4		
				科学史（２）	2	半期	1	2	3	4		
				科学史（３）	2	半期	1	2	3	4		
				科学史（４）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ言葉の力（１）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ言葉の力（２）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ言葉の力（３）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ言葉の力（４）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ日本の位相（１）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ日本の位相（２）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ日本の位相（３）	2	半期	1	2	3	4		
				テーマで学ぶ日本の位相（４）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の諸相を知る（１）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の諸相を知る（２）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の諸相を知る（３）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の諸相を知る（４）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の深層を読み解く（１）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の深層を読み解く（２）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の深層を読み解く（３）	2	半期	1	2	3	4		
				日本文化の深層を読み解く（４）	2	半期	1	2	3	4		
				宗教の見方（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				宗教の見方（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				世界の宗教（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				世界の宗教（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				論理学（１）	2	半期	1	2	3	4		
				論理学（２）	2	半期	1	2	3	4		
				論理学（３）	2	半期	1	2	3	4		
				論理学（４）	2	半期	1	2	3	4		
				哲学（１）	2	半期	1	2	3	4		
				哲学（２）	2	半期	1	2	3	4		
				哲学（３）	2	半期	1	2	3	4		
				哲学（４）	2	半期	1	2	3	4		
				倫理学（１）	2	半期	1	2	3	4		
				倫理学（２）	2	半期	1	2	3	4		
				倫理学（３）	2	半期	1	2	3	4		
				倫理学（４）	2	半期	1	2	3	4		

教養教育科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4		
選択必修	16単位	人文分野	倫理学（５）	2	半期	1	2	3	4			
			倫理学（６）	2	半期	1	2	3	4			
			倫理学（７）	2	半期	1	2	3	4			
			倫理学（８）	2	半期	1	2	3	4			
			東洋倫理（１）	2	半期	1	2	3	4	有		
			東洋倫理（２）	2	半期	1	2	3	4	有		
			伝統文化発展（１）	2	半期	1	2	3	4	有		
			伝統文化発展（２）	2	半期	1	2	3	4	有		
			古典芸能発展（１）	2	半期	1	2	3	4	有		
			古典芸能発展（２）	2	半期	1	2	3	4	有		
			近現代の文化発展（１）	2	半期	1	2	3	4	有		
			近現代の文化発展（２）	2	半期	1	2	3	4	有		
			子どもと文化発展（１）	2	半期	1	2	3	4	有		
			子どもと文化発展（２）	2	半期	1	2	3	4	有		
			スポーツ科学で学ぶ教養（文化）	2	半期	1	2	3	4			
			英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	半期	1	2	3	4	有		
			ドイツ語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	半期		2	3	4			
			ドイツ語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	半期		2	3	4			
			フランス語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	半期		2	3	4			
			フランス語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	半期		2	3	4			
			中国語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	半期		2	3	4			
			中国語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	半期		2	3	4			
			スペイン語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	半期		2	3	4			
			スペイン語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	半期		2	3	4			
			ロシア語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	半期		2	3	4			
			ロシア語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	半期		2	3	4			
			歴史哲学	4	通年	1	2	3	4			
			比較思想特講	4	通年	1	2	3	4			
			日本宗教文化史	4	通年		2	3	4			
			民衆宗教成立史	4	通年		2	3	4			
社会分野	社会学の基礎（１）	2	半期	1	2	3	4					
	社会学の基礎（２）	2	半期	1	2	3	4					
	社会学の基礎（３）	2	半期	1	2	3	4					
	社会学の基礎（４）	2	半期	1	2	3	4					
	社会学の基礎（５）	2	半期	1	2	3	4					
	社会学の基礎（６）	2	半期	1	2	3	4					

教養教育科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4		
選択必修		16単位	社会分野	統計学の基礎	2	半期	1	2	3	4	有	
				経済学の基礎	2	半期	1	2	3	4		
				人間と教育	2	半期	1	2	3	4	有	
				応用倫理学（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				応用倫理学（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代文明と哲学（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代文明と哲学（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代社会と宗教（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代社会と宗教（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代社会と社会科学論（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代社会と社会科学論（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代社会と都市論（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代社会と都市論（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				民族と文化（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				民族と文化（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				文化人類学概論（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				文化人類学概論（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				日本の文化と社会（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				日本の文化と社会（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				アジアの文化と社会（１）	2	半期	1	2	3	4	有	
				アジアの文化と社会（２）	2	半期	1	2	3	4	有	
				市場経済を考える	2	半期	1	2	3	4		
				現代経済を考える	2	半期	1	2	3	4		
				統計的分析を考える	2	半期	1	2	3	4	有	
				現代教育を考える	2	半期	1	2	3	4	有	
				スポーツ科学で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4		
				スポーツ科学で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4		
				英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	半期	1	2	3	4	有	
				英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	半期	1	2	3	4	有	
				Culture & Society I	2	半期	1	2	3	4		
				Culture & Society II	2	半期	1	2	3	4		
				Culture & Society III	2	半期	1	2	3	4		
				Culture & Society IV	2	半期	1	2	3	4		
				ドイツ語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	半期		2	3	4		
				ドイツ語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	半期		2	3	4		
				フランス語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	半期		2	3	4		
				フランス語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	半期		2	3	4		
				中国語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	半期		2	3	4		
				中国語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	半期		2	3	4		
				スペイン語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	半期		2	3	4		
				スペイン語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	半期		2	3	4		
				ロシア語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	半期		2	3	4		
				ロシア語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	半期		2	3	4		

教養教育科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数					1	2	3	4		
選択必修	16単位	自然分野	自然科学へのいざない	2	半期	1	2	3	4	有		・半期と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、『シラバス』掲載の日程を確認の上、履修登録してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。 ・集中の講座は夏季休業期間中に実施され、成績評価は後期・通年科目と同時に発表されます。9月卒業または後期休学の学生は、単位修得できません。
			生物学の基礎	2	半期	1	2	3	4			
			化学の基礎	2	半期	1	2	3	4	有		
			物理の基礎	2	半期	1	2	3	4	有		・半期と集中で開講される講座があります。 ・集中の講座については、『シラバス』掲載の日程を確認の上、履修登録してください。『授業時間表』では「集中」と表示されます。 ・集中の講座は夏季休業期間中に実施され、成績評価は後期・通年科目と同時に発表されます。9月卒業または後期休学の学生は、単位修得できません。
			数学の基礎	2	半期	1	2	3	4			
			心理学の基礎	2	半期	1	2	3	4			
					集中							
			宇宙科学入門	2	半期	1	2	3	4	有		
			人類学入門	2	半期	1	2	3	4	有		
			太陽系・地球環境システム入門	2	半期	1	2	3	4	有		
			微分積分学入門	2	半期	1	2	3	4	有		
			線型代数学入門	2	半期	1	2	3	4	有		
			確率・統計学入門	2	半期	1	2	3	4	有		
			生命と環境	2	半期	1	2	3	4	有		
			地球システムと自然災害	2	半期	1	2	3	4	有		
			気象と自然災害	2	半期	1	2	3	4	有		
			人類と自然科学	2	半期	1	2	3	4	有		
			人類と宇宙環境	2	半期	1	2	3	4	有		
			遺伝子と生命を考える	2	半期	1	2	3	4	有		
			進化と生態を考える	2	半期	1	2	3	4	有		
			汚染問題を考える	2	半期	1	2	3	4	有		
			資源と環境を考える	2	半期	1	2	3	4	有		
			地球温暖化を考える	2	半期	1	2	3	4	有		
			人間の心理を考える	2	半期	1	2	3	4			
			心と体を考える	2	半期	1	2	3	4			
			現代の化学	2	半期	1	2	3	4	有		
			現代の物理	2	半期	1	2	3	4	有		
			現代の宇宙像	2	半期	1	2	3	4	有		
			現代の人類学	2	半期	1	2	3	4	有		
			地球と生命の歴史	2	半期	1	2	3	4	有		
			微分積分学発展	2	半期	1	2	3	4	有		
			線型代数学発展	2	半期	1	2	3	4	有		
			確率・統計学発展	2	半期	1	2	3	4	有		
			自然観察実習	2	半期	1	2	3	4			
			スポーツ科学で学ぶ教養（自然）	2	半期	1	2	3	4			
			スポーツ科学で学ぶ教養（健康）	2	半期	1	2	3	4			
選択必修	16単位	ライフデザイン分野	新入生セミナー	2	半期	1						《学生番号指定》
			データサイエンス・A I 入門	2	半期	1	2	3	4			・データサイエンス・A I 教育プログラムのコア科目です。 ・詳細については、「データサイエンス・A I 教育プログラムについて」のページを確認してください。
			日本語リテラシー（1）	2	半期	1	2				有	
			日本語リテラシー（2）	2	半期	1	2				有	

教養教育科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		分野	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数					1	2				
選択必修	16単位	ライフデザイン分野	日本語リテラシー（3）	2	半期	1	2					
			日本語リテラシー（4）	2	半期	1	2					
			日本語リテラシー（5）	2	半期	1	2					
			日本語リテラシー（6）	2	半期	1	2					
			日本語リテラシー（7）	2	半期	1	2					
			日本語リテラシー特講（1）	2	半期	1	2	3	4		有	
			日本語リテラシー特講（2）	2	半期	1	2	3	4		有	
			日本語リテラシー特講（3）	2	半期	1	2	3	4		有	
			日本語リテラシー特講（4）	2	半期	1	2	3	4		有	
			I C Tリテラシー	2	半期	1	2	3	4		有	
			駒澤大学の歴史	2	半期	1	2	3	4			
			プログラミング入門	2	半期	1	2	3	4		有	
			メディアと文化入門	2	半期	1	2	3	4			
			プログラミング初級	2	半期	1	2	3	4		有	
			メディアと文化発展	2	半期	1	2	3	4			
			キャリアデザイン（1）	2	半期	1					有	
			キャリアデザイン（2）	2	半期		2				有	
			キャリアデザイン（3）	2	半期		2				有	
			ライフデザインを考える	2	半期			3				
			教養特殊講義（総合）	2	半期	1	2	3	4			
			スポーツ科学で学ぶ教養（余暇）	2	半期	1	2	3	4			
			世田谷6大学連携総合講座Ⅰ	2	半期	1	2	3	4			・成城大学・国士舘大学・東京農業大学・昭和女子大学・東京都市大学・駒澤大学の6大学が、相互に教員を派遣して講座を提供する科目です。
			世田谷6大学連携総合講座Ⅱ	2	半期	1	2	3	4			
			世田谷6大学連携総合講座Ⅲ	2	半期	1	2	3	4			
			世田谷6大学連携総合講座Ⅳ	2	半期	1	2	3	4			
			世田谷6大学連携総合講座Ⅴ	2	半期	1	2	3	4			
			教養実践演習（総合）	2	半期			3	4			
			教養ゼミ（1）	2	半期	1	2					
			教養ゼミ（2）	2	半期	1	2					
			教養ゼミ（3）	2	半期	1	2					
			教養ゼミ（4）	2	半期	1	2					
			教養ゼミ（5）	2	半期	1	2					
			教養発展ゼミ（1）	2	半期			3	4			
			教養発展ゼミ（2）	2	半期			3	4			
			教養発展ゼミ（3）	2	半期			3	4			
			教養発展ゼミ（4）	2	半期			3	4			
			教養発展ゼミ（5）	2	半期			3	4			
			教職入門	2	半期	1						・教員免許状取得希望者を対象とした科目です。詳細は、第2章＞教職課程・資格講座のページを確認してください。 ・【令和6（2024）年度以降入学生】修得した単位は、教養教育科目ライフデザイン分野の単位として卒業に必要な単位数に算入されます。 ・【令和5（2023）年度以前入学生】課程・講座開講科目として開講されているため、修得した単位は卒業に必要な単位数に算入されません。

教養教育科目（政治学科）

3 履修不可対象科目・廃講科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

また、廃講欄に「※」印のある旧科目名は、開講されません。ただし、廃講科目の単位を修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
東洋倫理（１）	東洋倫理	※	令和5 (2023) 年度以前
東洋倫理（２）			
日本語リテラシー特講（１）	ビジネスリテラシー（１）	※	
	I Tリテラシー A	※	
日本語リテラシー特講（２）	ビジネスリテラシー（２）	※	
	I Tリテラシー B	※	
日本語リテラシー特講（３）	ビジネスリテラシー（３）	※	
	I Tリテラシー C	※	
日本語リテラシー特講（４）	ビジネスリテラシー（４）	※	
	I Tリテラシー D	※	
日本美術（１）	日本美術	※	令和2 (2020) 年度以前
日本美術（２）			
西洋美術（１）	西洋芸術	※	
西洋美術（２）			
音楽（１）	音楽	※	
音楽（２）			
宗教の見方（１）	宗教学	※	
宗教の見方（２）			
世界の宗教（１）	世界の宗教	※	
世界の宗教（２）			
人文地理学の基礎（１）	人文地理学	※	
人文地理学の基礎（２）			
教育心理を学ぶ（１）	教育心理	※	
教育心理を学ぶ（２）			
日本文化の基礎	日本文化基礎	※	
伝統文化入門（１）	日本文化理解Ⅰ A	※	
伝統文化入門（２）	日本文化理解Ⅱ A	※	
古典芸能入門（１）	日本文化理解Ⅰ B	※	
近現代の文化入門（１）			
子どもと文化入門（１）	日本文化理解Ⅱ B	※	
古典芸能入門（２）			
近現代の文化入門（２）	日本文化探求Ⅰ A	※	
子どもと文化入門（２）			
伝統文化発展（１）	日本文化探求Ⅱ A	※	
古典芸能発展（１）			
伝統文化発展（２）	日本文化探求Ⅰ B	※	
古典芸能発展（２）			
近現代の文化発展（１）	日本文化探求Ⅱ B	※	
子どもと文化発展（１）			
大衆文化を学ぶ（１）	英語圏文化研究 a	※	
近現代の文化発展（２）			
子どもと文化発展（２）	英語圏文化研究 b	※	
大衆文化を学ぶ（２）			
英語圏文化を学ぶ（１）	英語圏文化研究 a	※	
英語圏文化を学ぶ（２）	英語圏文化研究 b	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅰ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）【外国語選択】	※	
統計学の基礎	統計学 A	※	
	統計学	※	

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
統計的分析を考える	統計学 B	※	令和2 (2020) 年度以前
	統計学	※	
民族と文化（１）	民族と文化 A	※	
民族と文化（２）	民族と文化 B	※	
日本の文化と社会（１）	日本の文化と社会	※	
日本の文化と社会（２）			
アジアの文化と社会（１）	アジアの社会と文化	※	
アジアの文化と社会（２）			
文化人類学概論（１）	文化人類学概論	※	
文化人類学概論（２）			
現代社会と社会科学論（１）	社会科学論 A	※	
現代社会と社会科学論（２）	社会科学論 B	※	
現代文明と哲学（１）	現代文明と哲学	※	
現代文明と哲学（２）			
応用倫理学（１）	応用倫理学	※	
応用倫理学（２）			
現代社会と宗教（１）	現代社会と宗教 A	※	
現代社会と宗教（２）	現代社会と宗教 B	※	
現代社会と都市論（１）	都市論	※	
現代社会と都市論（２）			
英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ） 【外国語選択】	※	
英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ） 【外国語選択】	※	
自然科学へのいざない	自然誌Ⅰ	※	
	自然誌Ⅱ	※	
遺伝子と生命を考える	生物学Ⅰ	※	
進化と生態を考える	生物学Ⅱ	※	
地球システムと自然災害	地球科学Ⅰ	※	
地球と生命の歴史	地球科学Ⅱ	※	
宇宙科学入門	宇宙科学Ⅰ	※	
現代の宇宙像	宇宙科学Ⅱ	※	
化学の基礎	化学Ⅰ	※	
現代の化学	化学Ⅱ	※	
物理の基礎	物理学Ⅰ	※	
現代の物理	物理学Ⅱ	※	
人類学入門	人類学Ⅰ	※	
現代の人類学	人類学Ⅱ	※	
人類と自然科学	自然環境論Ⅰ	※	
太陽系・地球環境システム入門			
生命と環境			
資源と環境を考える			
人類と宇宙環境	自然環境論Ⅱ	※	
汚染問題を考える			
地球温暖化を考える			
気象と自然災害			
微分積分学入門	数学Ⅰ a	※	
	数学Ⅰ b	※	
微分積分学発展	数学Ⅰ a	※	
	数学Ⅰ b	※	
線型代数学入門	数学Ⅱ a	※	
	数学Ⅱ b	※	
線型代数学発展	数学Ⅱ a	※	
	数学Ⅱ b	※	
確率・統計学入門	数学Ⅳ a	※	
	数学Ⅳ b	※	
確率・統計学発展	数学Ⅳ a	※	
	数学Ⅳ b	※	

教養教育科目（政治学科）

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
ICT リテラシー	コンピュータ基礎	※	令和2 (2020) 年度以前
日本語リテラシー（１）	日本語リテラシー A	※	
日本語リテラシー（２）	日本語リテラシー B	※	
プログラミング入門	コンピュータ応用 I	※	
プログラミング初級	コンピュータ応用 II	※	
キャリアデザイン（１）	キャリアデザイン A	※	
キャリアデザイン（２）	キャリアデザイン B	※	
キャリアデザイン（３）	キャリアデザイン C	※	
現行科目無し	人間観 A	※	
	人間観 B	※	
	倫理学	※	
	科学史	※	
	論理学	※	
	哲学	※	
	歴史学	※	
	文学	※	
	日本語テーマ研究 I	※	
	日本語テーマ研究 II	※	
	日本言語文化基礎	※	
	実務表現 I（話すこと）	※	
	実務表現 II（書くこと）	※	
	日本言語文化探求 I	※	
	日本言語文化探求 II	※	
	日本言語文化理會 I	※	
	日本言語文化理會 II	※	
	経済学	※	
	経済学 A	※	
	経済学 B	※	
	社会学	※	
	社会学 A	※	
	社会学 B	※	
	心理学	※	
	心理学 I	※	
	心理学 II	※	
	数学Ⅲ a	※	
	数学Ⅲ b	※	
現行科目無し	価値観	※	平成30 (2018) 年度以前
	制度とモラル	※	
	現代と倫理	※	
	科学と技術	※	
	近代科学の成立と展開	※	
	科学方法論と現代論理	※	
	知の技法	※	
	西洋思想の源流	※	
	近代の人間観と世界観	※	
	ライフデザイン入門	※	
	キャリアを考える I	※	
	キャリアを考える II	※	

教養教育科目（政治学科）

4 教養特別履修該当科目一覧

(1)「教養特別履修（日本文化）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
日本文化	※1	※日本文化探求ⅠA	2
		※日本文化探求ⅠB	2
		※日本語探求ⅠB	2
		大衆文化を学ぶ（1）	2
		伝統文化発展（1）	2
		古典芸能発展（1）	2
		近現代の文化発展（1）	2
		子どもと文化発展（1）	2
	※2	※日本文化探求ⅡA	2
		※日本文化探求ⅡB	2
		※日本語探求ⅡB	2
		大衆文化を学ぶ（2）	2
		伝統文化発展（2）	2
		古典芸能発展（2）	2
		近現代の文化発展（2）	2
		子どもと文化発展（2）	2
		※日本文化基礎	2
		※日本語文化基礎	2
		※日本文化理解ⅠA	2
		※日本文化理解ⅡA	2
		※日本文化理解ⅠB	2
		※日本文化理解ⅡB	2
		※日本語文化理會Ⅰ	2
		※日本語文化理會Ⅱ	2
		※日本語テーマ研究Ⅰ	2
		※日本語テーマ研究Ⅱ	2
		※実務表現Ⅰ（話すこと）	2
		※実務表現Ⅱ（書くこと）	2
		日本文化の基礎	2
		伝統文化入門（1）	2
		伝統文化入門（2）	2
		古典芸能入門（1）	2
		古典芸能入門（2）	2
		大衆文化を学ぶ（1）	2
		大衆文化を学ぶ（2）	2
		近現代の文化入門（1）	2
		近現代の文化入門（2）	2
		子どもと文化入門（1）	2
		子どもと文化入門（2）	2
合計必要単位			12

※の科目は、廃講により開講されません。

※1及び、※2のグループの中からそれぞれ1科目以上履修すること。

教養教育科目（政治学科）

(2)「教養特別履修（自然科学）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
古典的 領域	生物学の基礎	2	6
	※人類学Ⅰ	2	
	※人類学Ⅱ	2	
	人類学入門	2	
	※宇宙科学Ⅰ	2	
	※宇宙科学Ⅱ	2	
	宇宙科学入門	2	
	※化学Ⅰ	2	
	※化学Ⅱ	2	
	化学の基礎	2	
	※物理学Ⅰ	2	
	※物理学Ⅱ	2	
	物理の基礎	2	
	数学の基礎	2	
	※数学Ⅰ	2	
	※数学Ⅰ a	2	
	※数学Ⅰ b	2	
	※数学Ⅱ	2	
	※数学Ⅱ a	2	
	※数学Ⅱ b	2	
	※数学Ⅲ	2	
	※数学Ⅲ a	2	
	※数学Ⅲ b	2	
	※数学Ⅳ	2	
	※数学Ⅳ a	2	
	※数学Ⅳ b	2	
	微分積分学入門	2	
	線型代数学入門	2	
	確率・統計学入門	2	
	※地球科学Ⅰ	2	
	※地球科学Ⅱ	2	
	地球システムと自然災害	2	
	地球と生命の歴史	2	
	※生物学Ⅰ	2	
	※生物学Ⅱ	2	
総合的 領域	※自然誌	2	2
	※自然誌Ⅰ	2	
	※自然誌Ⅱ	2	
	自然科学へのいざない	2	
	教養特殊講義（自然）	2	

領域	配置科目	単位	必要単位数
発展的 領域	※自然環境論（2単位）	2	2
	※自然環境論（4単位）	4	
	※自然環境論Ⅰ	2	
	※自然環境論Ⅱ	2	
	人類と自然科学	2	
	人類と宇宙環境	2	
	太陽系・地球環境システム入門	2	
	汚染問題を考える	2	
	生命と環境	2	
	資源と環境を考える	2	
	地球温暖化を考える	2	
	現代の人類学	2	
	現代の宇宙像	2	
	現代の化学	2	
	現代の物理	2	
	微分積分学発展	2	
	線型代数学発展	2	
	確率・統計学発展	2	
	遺伝子と生命を考える	2	
	進化と生態を考える	2	
	気象と自然災害	2	
実践的 領域	自然観察実習	2	2
	教養実践演習（自然）	2	
合計必要単位			12

外国語科目（政治学科）

1 履修上の注意

- ①外国語科目は、全学共通科目として設置され、選択必修科目と選択科目に分かれています。選択必修科目としての外国語と選択科目としての外国語は、1年次から両方を履修することもできます。いわゆる第2外国語は、選択科目として履修することができます。
- ②外国語科目の選択必修科目は、入学手続き時に指定した外国語を履修してください。
- ③指定した外国語の変更はできません。
- ④学生番号が指定されている場合は、指定された曜日、時限、担当教員の科目を履修してください。学生番号の指定については、『授業時間表』に掲載されています。
- ⑤同一名称の科目でも、開講期、曜日、時限、担当教員によって、内容が異なる場合があります。詳細は、KONECO 掲載の『シラバス』を参照してください。
- ⑥選択科目として修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます（科目の認定先は、外国語科目）。
- ⑦英語選択必修科目の習熟度別クラス編成について（再履修クラスは除く）

1年次及び2年次に履修する英語選択必修科目において、習熟度別クラス編成を行っています。1年次は入学時に受験した「英語能力判定テスト」の成績、2年次は1年次の後期に受験した「英語能力判定テスト」の成績によりクラス編成を行います。ただし、原級者はこの限りではありません。指定されたクラス（KONECO で確認）で履修してください。

また、自分の所属クラスは KONECO の個人時間割表で確認してください。
- ⑧英語選択科目について

英語選択科目は3つのレベルで開講されます。履修する前にクラス分けテストは行いませんが、次のウェブページの説明を読み、自分の英語力にふさわしいレベルの科目を受講してください。

外国語科目について； <https://www.komazawa-u.ac.jp/campuslife/studies/undergraduate/registration/foreign-language.html>
- ⑨「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

外国語科目（政治学科）

2 開設科目一覧

対象：政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数									
選択必修	入学手続き時に指定した外国語のⅠAa・ⅠAb・ⅠBa・ⅠBb	4科目 4単位	英語ⅠAa	1	半期	1					《学生番号指定》 《再クラス○抽》
			英語ⅠAb	1	半期	1					
			英語ⅠBa	1	半期	1					
			英語ⅠBb	1	半期	1					
			ドイツ語ⅠAa	1	半期	1					
			ドイツ語ⅠAb	1	半期	1					
			ドイツ語ⅠBa	1	半期	1					
			ドイツ語ⅠBb	1	半期	1					
			フランス語ⅠAa	1	半期	1					
			フランス語ⅠAb	1	半期	1					
			フランス語ⅠBa	1	半期	1					
			フランス語ⅠBb	1	半期	1					
			中国語ⅠAa	1	半期	1					
			中国語ⅠAb	1	半期	1					
			中国語ⅠBa	1	半期	1					
			中国語ⅠBb	1	半期	1					
			スペイン語ⅠAa	1	半期	1					
			スペイン語ⅠAb	1	半期	1					
			スペイン語ⅠBa	1	半期	1					
			スペイン語ⅠBb	1	半期	1					
			ロシア語ⅠAa	1	半期	1					
			ロシア語ⅠAb	1	半期	1					
			ロシア語ⅠBa	1	半期	1					
			ロシア語ⅠBb	1	半期	1					
	1年次で履修した当該外国語のⅡAa・ⅡAb・ⅡBa・ⅡBb・ⅡDa・ⅡDb	6科目 6単位	英語ⅡAa	1	半期	2					《学生番号指定》 《再クラス○抽》 ・「ⅡDa」及び「ⅡDb」再クラスは、同一曜日時限かつ同一教員で履修すること。
			英語ⅡAb	1	半期	2					
			英語ⅡBa	1	半期	2					
			英語ⅡBb	1	半期	2					
			英語ⅡDa	1	半期	2					
			英語ⅡDb	1	半期	2					
			ドイツ語ⅡAa	1	半期	2					
			ドイツ語ⅡAb	1	半期	2					
			ドイツ語ⅡBa	1	半期	2					
			ドイツ語ⅡBb	1	半期	2					
			ドイツ語ⅡDa	1	半期	2					
			ドイツ語ⅡDb	1	半期	2					
			フランス語ⅡAa	1	半期	2					
			フランス語ⅡAb	1	半期	2					
			フランス語ⅡBa	1	半期	2					
			フランス語ⅡBb	1	半期	2					
			フランス語ⅡDa	1	半期	2					
			フランス語ⅡDb	1	半期	2					
			中国語ⅡAa	1	半期	2					
			中国語ⅡAb	1	半期	2					
			中国語ⅡBa	1	半期	2					
			中国語ⅡBb	1	半期	2					

外国語科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数									
選択必修	1年次で履修した当該外国語のⅡAa・ⅡAb・ⅡBa・ⅡBb・ⅡDa・ⅡDb	6科目 6単位	中国語ⅡD a	1	半期	2					《学生番号指定》 《再クラス◎抽》 ・「ⅡD a」及び「ⅡD b」再クラスは、同一曜日時限かつ同一教員で履修すること。
			中国語ⅡD b	1	半期	2					
			スペイン語ⅡA a	1	半期	2					
			スペイン語ⅡA b	1	半期	2					
			スペイン語ⅡB a	1	半期	2					
			スペイン語ⅡB b	1	半期	2					
			スペイン語ⅡD a	1	半期	2					
			スペイン語ⅡD b	1	半期	2					
			ロシア語ⅡA a	1	半期	2					
			ロシア語ⅡA b	1	半期	2					
			ロシア語ⅡB a	1	半期	2					
			ロシア語ⅡB b	1	半期	2					
			ロシア語ⅡD a	1	半期	2					
			ロシア語ⅡD b	1	半期	2					
選択			実用英会話（日常生活編）	1	半期	1	2	3	4		・「英語プレゼンテーションⅠa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb」のいずれかの単位を修得済みの場合、履修することができません。
			実用英会話（旅行編）	1	半期	1	2	3	4		
			TOEIC (R) Listening Ⅰ	1	半期	1	2	3	4	有	
			TOEIC (R) Reading Ⅰ	1	半期	1	2	3	4	有	
			ビジネス英語Ⅰ	1	半期	1	2	3	4		
			TOEIC (R) Listening Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	有	
			TOEIC (R) Reading Ⅱ	1	半期	1	2	3	4	有	
			ビジネス英語Ⅱ	1	半期	1	2	3	4		
			英語プレゼンテーション（実践）	1	半期		2	3	4	有	
			英語プレゼンテーション（応用）	1	半期		2	3	4	有	
			英語ディスカッションⅠa	1	半期	1	2	3	4		
			英語ディスカッションⅠb	1	半期	1	2	3	4		
			学術英語資格試験Ⅰa（読解）	1	半期	1	2	3	4		
			学術英語資格試験Ⅰb（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4		
			英語アカデミック・ライティングⅠa	1	半期	1	2	3	4		
			英語アカデミック・ライティングⅠb	1	半期	1	2	3	4		
			TOEIC (R) Speaking	1	半期	1	2	3	4		
			TOEIC (R) Writing	1	半期	1	2	3	4		
			英語ディスカッションⅡa	1	半期	1	2	3	4		
			英語ディスカッションⅡb	1	半期	1	2	3	4		
			学術英語資格試験Ⅱa（読解）	1	半期	1	2	3	4		
			学術英語資格試験Ⅱb（聴解・会話）	1	半期	1	2	3	4		
			英語アカデミック・ライティングⅡ	1	半期	1	2	3	4		
			英語多読・多聴a	1	半期	1	2	3	4		
			英語多読・多聴b	1	半期	1	2	3	4		
			英語クリエイティブ・ライティング	1	半期	1	2	3	4		
			パフォーマンス・イン・イングリッシュ	1	半期	1	2	3	4		
			学術英語読解a	2	半期	1	2	3	4		
			学術英語読解b	2	半期	1	2	3	4		
			ドイツ語ⅠA a（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「ドイツ語ⅠAa（選）」または「ドイツ語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			ドイツ語ⅠA b（選）	1	半期	1	2	3	4		
			ドイツ語ⅠB a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			ドイツ語ⅠB b（選）	1	半期	1	2	3	4		
			ドイツ語ⅠB b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「ドイツ語ⅠAa（選）」または「ドイツ語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。

外国語科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数									
選択			ドイツ語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4		・当該外国語科目の1年次向け科目の単位を前期・後期ともに修得済みであることが望ましい（以下の科目群から1組以上）。 ・「IAa・IAb」「IBa・IBb」（選択必修科目） ・「IAa（選）・IAb（選）」「IBa（選）・IBb（選）」
			ドイツ語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4		
			ドイツ語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4		
			ドイツ語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4		
			ドイツ語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4		
			ドイツ語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4		
			ドイツ語スキルアップ a	1	半期		2	3	4		
			ドイツ語スキルアップ b	1	半期		2	3	4		
			フランス語Ⅰ A a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			フランス語Ⅰ A b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「フランス語ⅠAa（選）」または「フランス語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			フランス語Ⅰ B a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			フランス語Ⅰ B b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「フランス語ⅠAa（選）」または「フランス語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			フランス語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4		
			フランス語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4		・当該外国語科目の1年次向け科目の単位を前期・後期ともに修得済みであることが望ましい（以下の科目群から1組以上）。 ・「IAa・IAb」「IBa・IBb」（選択必修科目） ・「IAa（選）・IAb（選）」「IBa（選）・IBb（選）」
			フランス語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4		
			フランス語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4		
			フランス語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4		
			フランス語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4		
			フランス語スキルアップ a	1	半期		2	3	4		
			フランス語スキルアップ b	1	半期		2	3	4		
			中国語Ⅰ A a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			中国語Ⅰ A b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「中国語ⅠAa（選）」または「中国語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			中国語Ⅰ B a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			中国語Ⅰ B b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「中国語ⅠAa（選）」または「中国語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			中国語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4		
			中国語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4		・当該外国語科目の1年次向け科目の単位を前期・後期ともに修得済みであることが望ましい（以下の科目群から1組以上）。 ・「IAa・IAb」「IBa・IBb」（選択必修科目） ・「IAa（選）・IAb（選）」「IBa（選）・IBb（選）」
			中国語コミュニケーションA a	1	半期		2	3	4		
			中国語コミュニケーションA b	1	半期		2	3	4		
			中国語コミュニケーションB a	1	半期		2	3	4		
			中国語コミュニケーションB b	1	半期		2	3	4		
			中国語スキルアップ a	1	半期		2	3	4		
			中国語スキルアップ b	1	半期		2	3	4		
			スペイン語Ⅰ A a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			スペイン語Ⅰ A b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「スペイン語ⅠAa（選）」または「スペイン語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			スペイン語Ⅰ B a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			スペイン語Ⅰ B b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「スペイン語ⅠAa（選）」または「スペイン語ⅠBa（選）」の受講生のみ履修することができます。

外国語科目（政治学科）

対象：政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
	科目数	単位数									
選択			スペイン語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4		・当該外国語科目の1年次向け科目の単位を前期・後期ともに修得済みであることが望ましい（以下の科目群から1組以上）。 ・「I A a・I A b」「I B a・I B b」（選択必修科目） ・「I A a（選）・I A b（選）」「I B a（選）・I B b（選）」
			スペイン語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4		
			スペイン語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4		
			スペイン語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4		
			スペイン語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4		
			スペイン語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4		
			スペイン語スキルアップ a	1	半期		2	3	4		
			スペイン語スキルアップ b	1	半期		2	3	4		
			ロシア語 I A a（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「ロシア語 IAa（選）」または「ロシア語 IBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			ロシア語 I A b（選）	1	半期	1	2	3	4		
			ロシア語 I B a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			ロシア語 I B b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「ロシア語 IAa（選）」または「ロシア語 IBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			ロシア語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4		・当該外国語科目の1年次向け科目の単位を前期・後期ともに修得済みであることが望ましい（以下の科目群から1組以上）。 ・「I A a・I A b」「I B a・I B b」（選択必修科目） ・「I A a（選）・I A b（選）」「I B a（選）・I B b（選）」
			ロシア語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4		
			ロシア語コミュニケーション A a	1	半期		2	3	4		
			ロシア語コミュニケーション A b	1	半期		2	3	4		
			ロシア語コミュニケーション B a	1	半期		2	3	4		
			ロシア語コミュニケーション B b	1	半期		2	3	4		
			ロシア語スキルアップ a	1	半期		2	3	4		
			ロシア語スキルアップ b	1	半期		2	3	4		
			朝鮮語 I A a（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「朝鮮語 IAa（選）」または「朝鮮語 IBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			朝鮮語 I A b（選）	1	半期	1	2	3	4		
			朝鮮語 I B a（選）	1	半期	1	2	3	4		
			朝鮮語 I B b（選）	1	半期	1	2	3	4		《受講制限》 ・原則として、前期科目「朝鮮語 IAa（選）」または「朝鮮語 IBa（選）」の受講生のみ履修することができます。
			朝鮮語Ⅱ a（選）	1	半期		2	3	4		★ ・当該外国語科目の1年次向け科目の単位を前期・後期ともに修得済みであることが望ましい（以下の科目群から1組以上）。 ・「I A a（選）・I A b（選）」「I B a（選）・I B b（選）」
			朝鮮語Ⅱ b（選）	1	半期		2	3	4		
			外国文化（1）	2	半期	1	2	3	4		
			外国文化（2）	2	半期	1	2	3	4		
			外国文化（3）	2	半期	1	2	3	4		
			外国文化（4）	2	半期	1	2	3	4		
			外国文化（5）	2	半期	1	2	3	4		
			英語（海外演習）	2		1	2	3	4		
			ドイツ語（海外演習）	2		1	2	3	4		
			フランス語（海外演習）	2		1	2	3	4		・海外協定校で行われる短期語学セミナーです。KONECOで履修登録する科目ではありません。詳細については、国際センターが配布する各セミナーのパンフレットを参照してください。（パンフレットは募集時期に配布されます） ・渡航時期が春期のものは、4年次は単位認定することができません。
			中国語（海外演習）	2		1	2	3	4		
			スペイン語（海外演習）	2		1	2	3	4		

外国語科目（政治学科）

3 履修不可対象科目・廃講科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。また、廃講欄に「※」印のある旧科目名は、開講されません。ただし、廃講科目の単位を修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

語学種類	現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
英語	TOEIC (R) Listening I	実用英語資格試験Ⅰ a (聴解)	※	平成31 (2019) 年度以前
	TOEIC (R) Reading I	実用英語資格試験Ⅰ b (文法・読解)	※	
	TOEIC (R) Listening II	実用英語資格試験Ⅱ a (聴解)	※	
	TOEIC (R) Reading II	実用英語資格試験Ⅱ b (文法・読解)	※	
現行科目無し		実用英語資格試験Ⅲ a (聴解)	※	
		実用英語資格試験Ⅲ b (文法・読解)	※	
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅲ)	※	
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅳ)	※	
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅴ)	※	
		英語で学ぶ教養 (歴史と社会Ⅵ)	※	
英語	英語プレゼンテーション (実践)	英語プレゼンテーションⅠ a	※	平成28 (2016) 年度以前
		英語プレゼンテーションⅠ b	※	
		英語プレゼンテーションⅡ a	※	
		英語プレゼンテーションⅡ b	※	
	英語プレゼンテーション (応用)	英語プレゼンテーションⅠ a	※	
		英語プレゼンテーションⅠ b	※	
		英語プレゼンテーションⅡ a	※	
		英語プレゼンテーションⅡ b	※	
現行科目無し		総合英語資格試験 a (読解)	※	
		総合英語資格試験 b (聴解・二次)	※	

外国語科目（政治学科）

4 教養特別履修該当科目一覧

(1)「教養特別履修（英語）」

領域	配置科目	単位	必要 単位数
英語の運用能力を 高める	※実用英語資格試験Ⅱ a（聴解）	1	8
	※実用英語資格試験Ⅱ b（文法・読解）	1	
	TOEIC（R）ReadingⅡ	1	
	TOEIC（R）ListeningⅡ	1	
	ビジネス英語Ⅱ	1	
	※英語プレゼンテーションⅡ a	1	
	※英語プレゼンテーションⅡ b	1	
	英語プレゼンテーション（実践）	1	
	英語プレゼンテーション（応用）	1	
	英語ディスカッションⅠ a	1	
	英語ディスカッションⅠ b	1	
	学術英語資格試験Ⅰ a（読解）	1	
	学術英語資格試験Ⅰ b（聴解・会話）	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ a	1	
	英語アカデミック・ライティングⅠ b	1	
	※実用英語資格試験Ⅲ a（聴解）	1	
	※実用英語資格試験Ⅲ b（文法・読解）	1	
	※総合英語資格試験 a（読解）	1	
	※総合英語資格試験 b（聴解・二次）	1	
	TOEIC（R）Speaking	1	
	TOEIC（R）Writing	1	
	英語ディスカッションⅡ a	1	
	英語ディスカッションⅡ b	1	
	学術英語資格試験Ⅱ a（読解）	1	
	学術英語資格試験Ⅱ b（聴解・会話）	1	
	英語アカデミック・ライティングⅡ	1	
	学術英語読解 a	2	
	学術英語読解 b	2	
英語によって教養 を学ぶ	英語で学ぶ教養（言語Ⅱ）	2	8
	英語で学ぶ教養（言語Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅶ）	2	
	英語で学ぶ教養（言語Ⅷ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅱ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅲ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅳ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅴ）	2	
	英語で学ぶ教養（文化Ⅵ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ）	2	
	英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅱ）	2	
	※英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅲ）	2	
	※英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅳ）	2	
	※英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅴ）	2	
	※英語で学ぶ教養（歴史と社会Ⅵ）	2	
	Culture & SocietyⅠ	2	
	Culture & SocietyⅡ	2	
	Culture & SocietyⅢ	2	
	Culture & SocietyⅣ	2	
合計必要単位			16

(2)「教養特別履修（ドイツ語）」

領域	配置科目	単位	必要 単位数
語学 ・ 異文化理解	ドイツ語Ⅰ A a	1	16
	ドイツ語Ⅰ A b	1	
	ドイツ語Ⅰ B a	1	
	ドイツ語Ⅰ B b	1	
	ドイツ語Ⅱ A a	1	
	ドイツ語Ⅱ A b	1	
	ドイツ語Ⅱ B a	1	
	ドイツ語Ⅱ B b	1	
	ドイツ語Ⅰ A a（選）	1	
	ドイツ語Ⅰ A b（選）	1	
	ドイツ語Ⅰ B a（選）	1	
	ドイツ語Ⅰ B b（選）	1	
	ドイツ語Ⅱ a（選）	1	
	ドイツ語Ⅱ b（選）	1	
	ドイツ語コミュニケーション A a	1	
	ドイツ語コミュニケーション A b	1	
	ドイツ語コミュニケーション B a	1	
	ドイツ語コミュニケーション B b	1	
	ドイツ語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	
	ドイツ語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	
	ドイツ語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	
	ドイツ語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	
	※名文で味わうドイツ語 a	2	
	※名文で味わうドイツ語 b	2	
	※現代を読むドイツ語 a	2	
	※現代を読むドイツ語 b	2	
	ドイツ語スキルアップ a	1	
	ドイツ語スキルアップ b	1	
	ドイツ語（海外演習）	2	
	外国文化（Ⅰ）	2	
	※外国文化 a	2	
	※外国文化 b	2	
合計必要単位			16

※の科目は、廃講により開講されません。

※の科目は、廃講により開講されません。

外国語科目（政治学科）

（3）「教養特別履修（フランス語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
語学・ 異文化理解	フランス語ⅠA a	1	16
	フランス語ⅠA b	1	
	フランス語ⅠB a	1	
	フランス語ⅠB b	1	
	フランス語ⅡA a	1	
	フランス語ⅡA b	1	
	フランス語ⅡB a	1	
	フランス語ⅡB b	1	
	フランス語ⅠA a（選）	1	
	フランス語ⅠA b（選）	1	
	フランス語ⅠB a（選）	1	
	フランス語ⅠB b（選）	1	
	フランス語Ⅱa（選）	1	
	フランス語Ⅱb（選）	1	
	フランス語コミュニケーションA a	1	
	フランス語コミュニケーションA b	1	
	フランス語コミュニケーションB a	1	
	フランス語コミュニケーションB b	1	
	フランス語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	
	フランス語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	
	フランス語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	
	フランス語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	
	※名文で味わうフランス語 a	2	
	※名文で味わうフランス語 b	2	
	※現代を読むフランス語 a	2	
	※現代を読むフランス語 b	2	
	フランス語スキルアップ a	1	
	フランス語スキルアップ b	1	
	フランス語（海外演習）	2	
	外国文化（2）	2	
	※外国文化 a	2	
	※外国文化 b	2	
合計必要単位数			16

※の科目は、廃講により開講されません。

（4）「教養特別履修（中国語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
語学・ 異文化理解	中国語ⅠA a	1	16
	中国語ⅠA b	1	
	中国語ⅠB a	1	
	中国語ⅠB b	1	
	中国語ⅡA a	1	
	中国語ⅡA b	1	
	中国語ⅡB a	1	
	中国語ⅡB b	1	
	中国語ⅠA a（選）	1	
	中国語ⅠA b（選）	1	
	中国語ⅠB a（選）	1	
	中国語ⅠB b（選）	1	
	中国語Ⅱa（選）	1	
	中国語Ⅱb（選）	1	
	中国語コミュニケーションA a	1	
	中国語コミュニケーションA b	1	
	中国語コミュニケーションB a	1	
	中国語コミュニケーションB b	1	
	中国語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	
	中国語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	
	中国語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	
	中国語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	
	※名文で味わう中国語 a	2	
	※名文で味わう中国語 b	2	
	※現代を読む中国語 a	2	
	※現代を読む中国語 b	2	
	中国語スキルアップ a	1	
	中国語スキルアップ b	1	
	中国語（海外演習）	2	
	外国文化（3）	2	
	※外国文化 a	2	
	※外国文化 b	2	
合計必要単位数			16

※の科目は、廃講により開講されません。

外国語科目（政治学科）

(5)「教養特別履修（スペイン語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
語学・ 異文化理解	スペイン語ⅠA a	1	16
	スペイン語ⅠA b	1	
	スペイン語ⅠB a	1	
	スペイン語ⅠB b	1	
	スペイン語ⅡA a	1	
	スペイン語ⅡA b	1	
	スペイン語ⅡB a	1	
	スペイン語ⅡB b	1	
	スペイン語ⅠA a（選）	1	
	スペイン語ⅠA b（選）	1	
	スペイン語ⅠB a（選）	1	
	スペイン語ⅠB b（選）	1	
	スペイン語Ⅱa（選）	1	
	スペイン語Ⅱb（選）	1	
	スペイン語コミュニケーションA a	1	
	スペイン語コミュニケーションA b	1	
	スペイン語コミュニケーションB a	1	
	スペイン語コミュニケーションB b	1	
	スペイン語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	
	スペイン語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	
	スペイン語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	
	スペイン語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	
	※名文で味わうスペイン語a	2	
	※名文で味わうスペイン語b	2	
	※現代を読むスペイン語a	2	
	※現代を読むスペイン語b	2	
	スペイン語スキルアップa	1	
	スペイン語スキルアップb	1	
	スペイン語（海外演習）	2	
	外国文化（4）	2	
	※外国文化a	2	
	※外国文化b	2	
合計必要単位数			16

※の科目は、廃講により開講されません。

(6)「教養特別履修（ロシア語）」

領域	配置科目	単位	必要単位数
語学・ 異文化理解	ロシア語ⅠA a	1	16
	ロシア語ⅠA b	1	
	ロシア語ⅠB a	1	
	ロシア語ⅠB b	1	
	ロシア語ⅡA a	1	
	ロシア語ⅡA b	1	
	ロシア語ⅡB a	1	
	ロシア語ⅡB b	1	
	ロシア語ⅠA a（選）	1	
	ロシア語ⅠA b（選）	1	
	ロシア語ⅠB a（選）	1	
	ロシア語ⅠB b（選）	1	
	ロシア語Ⅱa（選）	1	
	ロシア語Ⅱb（選）	1	
	ロシア語コミュニケーションA a	1	
	ロシア語コミュニケーションA b	1	
	ロシア語コミュニケーションB a	1	
	ロシア語コミュニケーションB b	1	
	ロシア語で学ぶ教養（人文Ⅰ）	2	
	ロシア語で学ぶ教養（人文Ⅱ）	2	
	ロシア語で学ぶ教養（社会Ⅰ）	2	
	ロシア語で学ぶ教養（社会Ⅱ）	2	
	※名文で味わうロシア語a	2	
	※名文で味わうロシア語b	2	
	※現代を読むロシア語a	2	
	※現代を読むロシア語b	2	
	ロシア語スキルアップa	1	
	ロシア語スキルアップb	1	
	外国文化（5）	2	
	※外国文化a	2	
	※外国文化b	2	
合計必要単位数			16

※の科目は、廃講により開講されません。

保健体育科目（政治学科）

1 履修上の注意

①保健体育科目は、全学共通科目として設置されており、実技科目・講義実技科目・講義科目に分かれています。

②選択科目として修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数として算入されます（科目の認定先は、保健体育科目）。

ただし、履修の上限は在学期間中6単位までとします。

③玉川キャンパスでの「健康・スポーツ実習」では授業初日に対面にて種目選択を実施しますので、必ず参加するようにしてください。初回授業を欠席してしまった場合は、第2回の授業開始前までに、玉川キャンパスの体育教官室(第2体育館2階)を訪問のうえ、その旨を相談してください。

④玉川キャンパスの「実技科目」は、種目によっては天候等に左右され、本来の授業計画が変更される場合があります。

- ・受講する学生の習熟度によって学習の進捗が変更になる場合があります。
- ・KONECO の『シラバス』に掲載された各種目の授業計画案はあくまでも目安です。
- ・雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、玉川キャンパスの掲示板等で周知します。

⑤見学や欠席について

- ・やむを得ない事情により、授業に参加できない場合、または長期にわたる運動制限を余儀なくされた場合、授業の参加形態については担当教員と相談してください。

⑥服装について

- ・ウェア等については、担当教員の指示に従ってください。

⑦事故・負傷・貴重品の管理について

- ・実技の時間に事故発生又は負傷した場合、直ちに担当教員に報告し、指示を受けてください。
- ・貴重品の管理は、各自で行い、貴重品ロッカーを利用するなど十分注意してください。

⑧対面での授業開講・受講が難しいと判断された場合には、WebClass を活用してオンライン授業を行います。詳細は KONECO 等で連絡する場合がありますので、事前に確認をお願いします。

⑨「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

⑩「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ（シーズン基礎・応用）」について及び「健康・スポーツ実習（シーズン）」について

- ・『授業時間表』では、「特时限」に掲載されています。

- ・同一年度に「生涯スポーツ演習Ⅰ」から1科目、「生涯スポーツ演習Ⅱ」から1科目履修できます。

ただし、「健康・スポーツ実習（シーズン）」として履修する場合は、同一年度に1科目のみの履修となります。

- ・「生涯スポーツ演習Ⅰ」及び夏季開講の「健康・スポーツ実習（シーズン）」の講座は前期中に実施されますが、成績評価は後期・通年科目と同時に発表されます。

9月卒業または後期休学の学生は単位修得できません。

- ・履修希望者はオリエンテーションを受講し「受講許可」を得てください。受講許可なく履修登録をしても無効です。受講許可・履修登録に加えて、実習費を納入した学生が履修できます。

- ・受講許可は定員に達した時点で締め切ります。希望者が定員を超えた場合には抽選を行います。

- ・オリエンテーションについて

詳細は KONECO 等を確認してください。

- ・この科目は教務部で履修登録を行います。従って、年間履修制限単位数から、履修する「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」及び「健康・スポーツ実習（シーズン）」の単位数分を差し引いた状態で履修登録を完了させてください。履修登録内容確定日に科目の登録が行われているかを必ず確認してください。実習費納入後の単位修得放棄は、原則としてできません。

・授業日程

生涯スポーツ演習Ⅰ	①種目・定員：ゴルフ・32名 ②日程：(1) オリエンテーション 4月5日（土） 第1回 12：10～13：10 1-202教場 第2回 16：10～17：10 1-202教場 (2) 事前授業：詳細はオリエンテーションおよび WebClass にてお知らせします。 (3) 講習期間：詳細はオリエンテーションおよび WebClass にてお知らせします。
生涯スポーツ演習Ⅱ	①種目・定員：スキー／スノーボード・60名 ②日程：(1) オリエンテーション 4月5日（土） 第1回 12：10～13：10 1-203教場 第2回 16：10～17：10 1-203教場 (2) 事前授業：詳細はオリエンテーションおよび WebClass にてお知らせします。 (3) 講習期間：詳細はオリエンテーションおよび WebClass にてお知らせします。

保健体育科目（政治学科）

2 開設科目一覧

対象：政治学科

必・選	卒業必要		科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項	
	科目数	単位数										
選択		履修上限6単位	実技	健康・スポーツ実習	2	通年	1					《玉川キャンパス》 《種目・定員》 ・4月初回の授業で種目を決定しますので、必ず出席してください。 ・前期・後期で異なる種目を受講してください。 ・複数担当教員がいる授業なので、自分の種目の担当教員名を把握しておいてください。 ・教職課程の受講希望者は、1年次に修得するよう努めてください。
			実技	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	半期	1					
				生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）	1	半期		2				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）	1	半期			3			
				生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）	1	半期				4		
				生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	半期	1					
				生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）	1	半期		2				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）	1	半期			3			
				生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）	1	半期				4		
				生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	半期	1					
				生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）	1	半期		2				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）	1	半期			3			
				生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）	1	半期				4		
				生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	1	半期	1					
				生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）	1	半期		2				
				生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）	1	半期			3			
				生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）	1	半期				4		
			講義実技	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4	・「1. 履修上の注意」を参照してください。 ・ゴルフ	
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4		
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4		
				生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4		
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎A）	2	シーズン	1	2	3	4	・「1. 履修上の注意」を参照してください。 ・スキー、スノーボード	
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎B）	2	シーズン	1	2	3	4		
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用A）	2	シーズン	1	2	3	4		
				生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用B）	2	シーズン	1	2	3	4		
			講義	スポーツ・ウエルネス論Ⅰ	2	半期	1				有	《玉川キャンパス》
				スポーツ・ウエルネス論Ⅱ	2	半期		2	3	4	有	

3 履修不可対象科目・廃講科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。

また、廃講欄に「※」印のある旧科目名は、開講されません。ただし、廃講科目の単位を修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
スポーツ・ウエルネス論Ⅰ	健康・スポーツ論 1	※	令和5(2023)年度以前
スポーツ・ウエルネス論Ⅱ	健康・スポーツ論 2	※	

保健体育科目（政治学科）

4 開講種目

〔実技科目の開講種目〕

◆「健康・スポーツ実習」の開講種目

	水・1（政治）
種目	トレーニング テニス 室内球技

◆「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（前期／後期、基礎／応用）」の開講種目

※が付いている種目は、玉川キャンパスにて開講します。それ以外の種目は、駒沢キャンパスでの開講です。

	月曜日	火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限		前期応用	卓球&ユニホック			前期基礎	ダブルダッチ&ストレッチ		
		後期応用	卓球&ユニホック			後期基礎	ダブルダッチ&ストレッチ		
2時限		前期応用	卓球&ユニホック			前期応用	卓球	前期基礎	※室内球技 テニス 卓球
		後期応用	卓球&ユニホック			後期応用	卓球	後期基礎	※室内球技 テニス 卓球
3時限				前期基礎	※室内球技 ※テニス 卓球	前期基礎	卓球	前期基礎	卓球
				後期基礎	※室内球技 ※テニス 卓球	後期基礎	卓球	後期基礎	卓球
4時限				前期基礎	ユニバーサルスポーツ				
				後期基礎	ユニバーサルスポーツ				

専門教育科目（政治学科）

1 履修上の注意

- ①専門教育科目は、選択必修科目及び選択科目に分かれ、定められた単位を修得しなければなりません。専門教育科目全般にわたって十分検討して履修することが必要です。
- ②定められた単位を超えて修得した選択必修科目の単位は、専門教育科目の選択科目として卒業に必要な単位数に算入されます。
- ③定められた単位を超えて修得した選択科目の単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます（科目の認定先は、専門教育科目）。
- ④前年度までに単位を修得した科目は、その時点で指定されていた履修単位の区分（必修・選択必修・選択）で単位が認定されます。したがって、前年度と同一名称の科目であっても、履修単位の区分が変更されていた場合、単位を修得した時点の履修単位の区分で単位が認定されます（例：前年度は選択科目だった科目 A が、今年度は選択必修として開講していた。前年度までに科目 A の単位を修得している場合、それは選択科目として単位が認定される。逆に前年度までに科目 A の単位を未修得の場合、今年度以降に単位を修得すると選択必修として単位が認定される）。
- ⑤開設科目一覧上に指定されている卒業に必要な単位数・科目数も、前年度に指定されていた条件に該当する科目名で単位を修得済みの場合、今年度に対象科目名が変更されていたとしても、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていると判断します。また、前年度までに指定されていた卒業必要科目数・単位数を満たしていない場合は、今年度開講している科目名で条件を満たすことになります。
- ⑥「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

2 コース制について

政治学全般の入門としての「政治学基礎」と政治を考える土台となる「憲法」の2科目は1年次に全員が必ず履修しなければなりません。また、政治学の基本的理論と考え方の理解を深めるため「現代政治分析入門1」・「現代政治分析入門2」・「日本政治入門」・「現代政治理論入門」・「行政学・公共政策入門」・「国際社会入門」・「国際関係入門」の7科目のうちから自らの関心にあわせて科目を選択し、全員履修の2科目（「政治学基礎」と「憲法」）とあわせて16単位以上を修得する必要があります。こうした科目を学んだ上で2年次からどれか1つのコースを選択することになります。コースは各学生の自主性にまかせた届け出制であり、選抜制ではありません。

コースは4つに分かれ、それぞれのコースでは次のような人材の育成を目指しています。

・「現代社会と政治コース」

教員をはじめ、社会の各分野で次世代の人間育成と持続可能な社会の形成に深く携わる人材。他にも、省庁、地方自治体、銀行、証券、商社、製造業、IT サービスなど幅広い分野で社会への貢献を目指す人材。

※全員履修科目の「政治学基礎」及び「憲法」に加えて、1年次または2年次に「現代政治理論入門」「日本政治入門」を履修することが望ましい。

・「行政・公共政策コース」

公務員をはじめ、行政の公共性を理解したうえで、望ましい・住みやすい地域社会の構築に主体的に関与できる社会人。

※全員履修科目の「政治学基礎」及び「憲法」に加えて、1年次または2年次に「行政学・公共政策入門」を履修することが望ましい。

専門教育科目（政治学科）

・「国際・地域研究コース」

海外の地域やそこに住む人々に関する深い造詣を有し、国際機関、グローバルに活躍する企業や団体、国際社会や地域・団体交流の場で積極的役割を担う国際社会人。

※全員履修科目の「政治学基礎」及び「憲法」に加えて、1年次または2年次に「国際社会入門」「国際関係入門」を履修することが望ましい。

・「政治とメディア研究コース」

幅広い情報収集技術と情報を正確に読みこなせるメディア・リテラシーを身につけ、各種マスコミ及び企業の企画・商品開発・宣伝広報部門で活躍できる人材。

※全員履修科目の「政治学基礎」及び「憲法」に加えて、1年次または2年次に「現代政治分析入門1」「現代政治分析入門2」を履修することが望ましい。

卒業後の進路も見据えて最も自分に適すると思われるコースを選択してください。選択したコースの科目群から24単位以上を履修しなければなりません。選択しなかった他の3つのコースにおかれた選択必修科目はすべて選択科目として履修できます。

・コース登録方法

1年次10月頃に KONECO でのコース登録が必要です。

詳細な登録方法及び期間等については、9月中旬頃に KONECO でお知らせしますので、確認してください。

専門教育科目（政治学科）

3 開設科目一覧

対象：政治学科（現代社会と政治コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次	履修不可科目	注意事項
選択必修①	全員	政治学基礎	4	通年	1		★ ・1年次に全員履修すること。
		憲法	4	通年	1		
	基礎	日本政治入門	4	通年	1	2 3 4	★ ・できるだけ早い年次に履修することが望ましい。
		現代政治理論入門	2	半期	1	2 3 4	
		国際社会入門	2	半期	1	2 3 4	
		国際関係入門	2	半期	1	2 3 4	
		現代政治分析入門 1	2	半期	1	2 3 4	
		現代政治分析入門 2	2	半期	1	2 3 4	
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2 3 4	
		政治コミュニケーション論入門	2	半期	1	2 3 4	
選択必修②	発展	ヨーロッパ政治史	4	通年		2 3 4	・「政治学基礎」「憲法」「現代政治理論入門」「日本政治入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。 ・「政治学原論」「安全保障論」は平成29（2017）年度以降廃講科目です。平成28（2016）年度までに上記科目の単位を修得済みの場合は、選択必修②に算入されます。
		政治学方法論 1	2	半期		2 3 4	
		政治学方法論 2	2	半期		2 3 4	
		現代政治理論応用	2	半期		2 3 4	
		政治思想史	4	通年		2 3 4	
		政治制度論	4	通年		2 3 4	
		政治過程論	4	通年		2 3 4	
		国際関係論	4	通年		2 3 4	
		比較政治学	4	通年		2 3 4	
		政治経済学	4	通年		2 3 4	
		政治社会学	4	通年		2 3 4	
		外交・安全保障論	2	半期		2 3 4	
		グローバルガバナンス論	2	半期		2 3 4	
		日本政治史	4	通年		2 3 4	
		ジェンダーと政治	2	半期		2 3 4	
選択	52単位以上	基礎演習	4	通年	2		《受講制限》 ・原則として1年次秋に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能です。
		演習Ⅰ	4	通年		3	《受講制限》 ・原則として2年次秋に行う履修希望者の募集で許可された3年次生のみ履修可能です。
		演習Ⅱ	4	通年		4	《受講制限》
		政治学特殊講義（1）	2	半期		2 3 4	・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。
		政治学特殊講義（2）	2	半期		2 3 4	
		政治学特殊講義（3）	2	半期		2 3 4	
		政治学特殊講義（4）	2	半期		2 3 4	
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年		3	・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」と「外書講読Ⅰ（英書）」は同時に履修登録できません。
		外書講読Ⅰ A（英書）	2	半期		3	
		外書講読Ⅰ B（英書）	2	半期		3	・隔年開講 《受講制限》 ・4月初回授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。
		外書講読（独書）	4	通年		3	
		外書講読（仏書）	4	通年		3	・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅱ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」と「外書講読Ⅱ（英書）」は同時に履修登録できません。
		外書講読（中国書）	4	通年		3	
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年		4	
		外書講読Ⅱ A（英書）	2	半期		4	
		外書講読Ⅱ B（英書）	2	半期		4	
		国際法	4	通年		2 3 4	
		北米政治論	2	半期		2 3 4	
		中南米政治論	2	半期		2 3 4	
		オセアニア政治論	2	半期		2 3 4	

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（現代社会と政治コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	注意事項
選択	52単位以上	東南アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		東アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		南アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		ロシア政治論	2	半期	2	3	4		
		ヨーロッパ政治論	2	半期	2	3	4		
		E U政治論	2	半期	2	3	4		
		中東政治論	2	半期	2	3	4		
		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4		
		比較憲法	4	通年	2	3	4		
		公共政策論	4	通年	2	3	4		
		外交史	4	通年	2	3	4		
		国際関係とメディア	2	半期	2	3	4		
		世界政治とメディア	2	半期	2	3	4		
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2	3	4		
		ジャーナリズム論	4	通年	2	3	4		
		比較メディア論1	2	半期	2	3	4	有	・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		比較メディア論2	2	半期	2	3	4	有	
		数量政治学	4	通年	2	3	4		
		政治心理学	4	通年	2	3	4		
		地方行政	4	通年	2	3	4		・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		都市・まちづくり論	4	通年	2	3	4		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4		
		行政救済法	4	通年		3	4		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年	2	3	4		
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4		
		刑法総論	4	通年	2	3	4		
		労働法	4	通年		3	4		
		社会政策	4	通年	2	3	4		
		地球環境政治論	2	半期	2	3	4	有	
		社会学原理	4	通年	2	3	4		
		財政学	4	通年	2	3	4		
		経済原論	4	通年	2	3	4		
		日本法制史	4	通年	2	3	4		
		西洋法制史	4	通年	2	3	4		
		経済政策	4	通年	2	3	4		
		会社法	4	通年	2	3	4		
		英米法	4	通年	2	3	4		
		刑事政策	4	通年	2	3	4		
		刑法各論	4	通年	2	3	4		
		民法（債権）	4	通年	2	3	4		
		時事英語	2	半期	2	3	4		
		時事問題研究	4	通年	2	3	4		
		実務者講座	2	半期	2	3	4		・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（現代社会と政治コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	注意事項
選択	52 単位以上 ↓	国際経済論 a	2	半期	2	3	4		◎
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4		
		農業政策 a	2	半期	2	3	4		◎
		農業政策 b	2	半期	2	3	4		
		工業政策 a	2	半期	2	3	4		◎
		工業政策 b	2	半期	2	3	4		
		流通政策 a	2	半期	2	3	4		◎
		流通政策 b	2	半期	2	3	4		
		交通論 a	2	半期	2	3	4		◎
		交通論 b	2	半期	2	3	4		
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4		◎
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4		
		経済法	4	通年		3	4		
		国際紛争解決法	4	通年		3	4		
		社会保障法	4	通年		3	4		
		非営利組織論 a	2	半期		3	4		◎
		非営利組織論 b	2	半期		3	4		
		測量学	4	通年	2	3	4		★
		経済学特殊講義 1	2	半期		3	4		

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（行政・公共政策コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次				履修不可科目	注意事項
選択必修①	全員	政治学基礎	4	通年	1					★
		憲法	4	通年	1					・1年次に全員履修すること。
	基礎	現代政治分析入門 1	2	半期	1	2	3	4		★
		現代政治分析入門 2	2	半期	1	2	3	4		
		日本政治入門	4	通年	1	2	3	4		
		現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4		
		行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4		★
		国際社会入門	2	半期	1	2	3	4		
		国際関係入門	2	半期	1	2	3	4		
		政治コミュニケーション論入門	2	半期	1	2	3	4		
選択必修②	発展	地方行政	4	通年		2	3	4		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		都市・まちづくり論	4	通年		2	3	4		
		行政法総論	4	通年		2	3	4		
		行政救済法	4	通年			3	4		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年		2	3	4		・「政治学基礎」「憲法」「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		民法（総則・物権法）	4	通年		2	3	4		
		刑法総論	4	通年		2	3	4		
		労働法	4	通年			3	4		
		社会政策	4	通年		2	3	4		
		地球環境政治論	2	半期		2	3	4	有	
		公共政策論	4	通年		2	3	4		
		国際関係論	4	通年		2	3	4		2022年度以前に単位を修得した場合、選択科目に算入されます。
		政治経済学	4	通年		2	3	4		・2019年度以前入学生が2021年度以前に修得した場合、選択科目に算入されます。
		基礎演習	4	通年		2				《受講制限》 ・原則として1年次秋に行う履修希望者の募集で許可された2年次生のみ履修可能となります。
		演習Ⅰ	4	通年			3			《受講制限》 ・原則として2年次秋に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		演習Ⅱ	4	通年				4		《受講制限》
		政治学特殊講義（1）	2	半期		2	3	4		・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」と「外書講読Ⅰ（英書）」は同時に履修登録できません。
選択	52単位以上	政治学特殊講義（2）	2	半期		2	3	4		
		政治学特殊講義（3）	2	半期		2	3	4		
		政治学特殊講義（4）	2	半期		2	3	4		
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年			3		有	・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」と「外書講読Ⅱ（英書）」は同時に履修登録できません。
		外書講読Ⅰ A（英書）	2	半期			3		有	
		外書講読Ⅰ B（英書）	2	半期			3		有	
		外書講読（独書）	4	通年			3		有	
		外書講読（仏書）	4	通年			3		有	《受講制限》 ・4月初回授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。
		外書講読（中国書）	4	通年			3		有	
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年				4	有	
		外書講読Ⅱ A（英書）	2	半期				4	有	
		外書講読Ⅱ B（英書）	2	半期				4	有	

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（行政・公共政策コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	注意事項
選択	52単位以上	政治学方法論 1	2	半期	2	3	4		
		政治学方法論 2	2	半期	2	3	4		
		ジェンダーと政治	2	半期	2	3	4		
		現代政治理論応用	2	半期	2	3	4		
		政治思想史	4	通年	2	3	4		
		政治制度論	4	通年	2	3	4		
		ヨーロッパ政治史	4	通年	2	3	4		
		政治過程論	4	通年	2	3	4		
		比較政治学	4	通年	2	3	4		
		政治社会学	4	通年	2	3	4		
		外交・安全保障論	2	半期	2	3	4		
		グローバルガバナンス論	2	半期	2	3	4		
		日本政治史	4	通年	2	3	4		
		国際法	4	通年	2	3	4		
		北米政治論	2	半期	2	3	4		
		中南米政治論	2	半期	2	3	4		
		オセアニア政治論	2	半期	2	3	4		
		東南アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		東アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		南アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		ロシア政治論	2	半期	2	3	4		
		ヨーロッパ政治論	2	半期	2	3	4		
		E U 政治論	2	半期	2	3	4		
		中東政治論	2	半期	2	3	4		
		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4		
		比較憲法	4	通年	2	3	4		
		外交史	4	通年	2	3	4		
		国際関係とメディア	2	半期	2	3	4		
		世界政治とメディア	2	半期	2	3	4		
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2	3	4		
		ジャーナリズム論	4	通年	2	3	4		
		比較メディア論1	2	半期	2	3	4		・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		比較メディア論2	2	半期	2	3	4		
		数量政治学	4	通年	2	3	4		
		政治心理学	4	通年	2	3	4		
		社会学原理	4	通年	2	3	4		
		財政学	4	通年	2	3	4		
		経済原論	4	通年	2	3	4		
		日本法制史	4	通年	2	3	4		
		西洋法制史	4	通年	2	3	4		
		経済政策	4	通年	2	3	4		
		会社法	4	通年	2	3	4		
		英米法	4	通年	2	3	4		
		刑事政策	4	通年	2	3	4		
		経済法	4	通年		3	4		
		国際紛争解決法	4	通年		3	4		

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（行政・公共政策コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	注意事項
選択	52 単位以上	刑法各論	4	通年		2	3	4	
		民法（債権）	4	通年		2	3	4	
		社会保障法	4	通年			3	4	
		時事英語	2	半期		2	3	4	
		時事問題研究	4	通年		2	3	4	
		実務者講座	2	半期		2	3	4	・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		国際経済論 a	2	半期		2	3	4	◎
		国際経済論 b	2	半期		2	3	4	
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	◎
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	◎
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	◎
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	
		交通論 a	2	半期		2	3	4	◎
		交通論 b	2	半期		2	3	4	
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	◎
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	
		非営利組織論 a	2	半期			3	4	◎
		非営利組織論 b	2	半期			3	4	
		測量学	4	通年		2	3	4	★
	▽	経済学特殊講義 1	2	半期			3	4	

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（国際・地域研究コース）

必・選		単位 数	科目名	単位	開講期	配当年次				履修 不可 科目	注意事項	
選択必修①	全員	↑	政治学基礎	4	通年	1					★	・1年次に全員履修すること。
			憲法	4	通年	1						
	基礎	16 単位	国際社会入門	2	半期	1	2	3	4		★	・できるだけ早い年次に履修することが望ましい。
			国際関係入門	2	半期	1	2	3	4			
			現代政治分析入門 1	2	半期	1	2	3	4			
			現代政治分析入門 2	2	半期	1	2	3	4			
			日本政治入門	4	通年	1	2	3	4			
			現代政治理論入門	2	半期	1	2	3	4			
			行政学・公共政策入門	4	通年	1	2	3	4			
			政治コミュニケーション論入門	2	半期	1	2	3	4			
選択必修②	発展	24 単位	ヨーロッパ政治史	4	通年		2	3	4		・「政治学基礎」「憲法」「国際社会入門」「国際関係入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。	
			国際関係論	4	通年		2	3	4			
			比較政治学	4	通年		2	3	4			
			国際法	4	通年		2	3	4			
			外交・安全保障論	2	半期		2	3	4			
			グローバルガバナンス論	2	半期		2	3	4			
			日本政治史	4	通年		2	3	4			
			北米政治論	2	半期		2	3	4			
			中南米政治論	2	半期		2	3	4			
			オセアニア政治論	2	半期		2	3	4			
			東南アジア政治論	2	半期		2	3	4			
			東アジア政治論	2	半期		2	3	4			
			南アジア政治論	2	半期		2	3	4			
			ロシア政治論	2	半期		2	3	4			
			ヨーロッパ政治論	2	半期		2	3	4			
			E U 政治論	2	半期		2	3	4			
			中東政治論	2	半期		2	3	4			
			アフリカ政治論	2	半期		2	3	4			
			政治経済学	4	通年		2	3	4			・2019年度以前入学生が2021年度以前に修得した場合、選択科目に算入されます。
			選択	52 単位以上	基礎演習	4	通年		2			
演習Ⅰ	4	通年					3			《受講制限》 ・原則として2年次秋に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。		
演習Ⅱ	4	通年						4		《受講制限》		
政治学特殊講義（1）	2	半期				2	3	4				
政治学特殊講義（2）	2	半期				2	3	4				
政治学特殊講義（3）	2	半期				2	3	4				
政治学特殊講義（4）	2	半期				2	3	4				
外書講読Ⅰ（英書）	4	通年					3		有	・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」と「外書講読Ⅰ（英書）」は同時に履修登録できません。		
外書講読Ⅰ A（英書）	2	半期					3		有			
外書講読Ⅰ B（英書）	2	半期					3		有			
外書講読（独書）	4	通年					3		有	・隔年開講 《受講制限》 ・4月初回授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。		
外書講読（仏書）	4	通年					3		有			
外書講読（中国書）	4	通年					3		有			

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（国際・地域研究コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	注意事項
選択	52単位以上	外書講読Ⅱ（英書）	4	通年			4	有	・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅱ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」と「外書講読Ⅱ（英書）」は同時に履修登録できません。
		外書講読Ⅱ A（英書）	2	半期			4	有	
		外書講読Ⅱ B（英書）	2	半期			4	有	
		時事英語	2	半期	2	3	4		
		時事問題研究	4	通年	2	3	4		
		ジェンダーと政治	2	半期	2	3	4		
		政治学方法論 1	2	半期	2	3	4		
		政治学方法論 2	2	半期	2	3	4		
		現代政治理論応用	2	半期	2	3	4		
		政治思想史	4	通年	2	3	4		
		政治制度論	4	通年	2	3	4		
		政治過程論	4	通年	2	3	4		
		政治社会学	4	通年	2	3	4		
		外交史	4	通年	2	3	4		
		比較憲法	4	通年	2	3	4		
		公共政策論	4	通年	2	3	4		
		国際関係とメディア	2	半期	2	3	4		
		世界政治とメディア	2	半期	2	3	4		
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2	3	4		
		ジャーナリズム論	4	通年	2	3	4		
		比較メディア論1	2	半期	2	3	4		・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		比較メディア論2	2	半期	2	3	4		
		数量政治学	4	通年	2	3	4		
		政治心理学	4	通年	2	3	4		
		地方行政	4	通年	2	3	4		
		都市・まちづくり論	4	通年	2	3	4		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政救済法	4	通年		3	4		
		地方自治法	4	通年	2	3	4		
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4		
		刑法総論	4	通年	2	3	4		
		労働法	4	通年		3	4		
		社会政策	4	通年	2	3	4		
		地球環境政治論	2	半期	2	3	4	有	
		英米法	4	通年	2	3	4		
		国際紛争解決法	4	通年		3	4		
		社会学原理	4	通年	2	3	4		
		財政学	4	通年	2	3	4		
		経済原論	4	通年	2	3	4		
		日本法制史	4	通年	2	3	4		
		西洋法制史	4	通年	2	3	4		

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（国際・地域研究コース）

必・選	単位数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修不可科目	注意事項
選択	52 単位以上	経済政策	4	通年	2	3	4		
		会社法	4	通年	2	3	4		
		刑事政策	4	通年	2	3	4		
		経済法	4	通年		3	4		
		刑法各論	4	通年	2	3	4		
		民法（債権）	4	通年	2	3	4		
		社会保障法	4	通年		3	4		
		実務者講座	2	半期	2	3	4		・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		国際経済論 a	2	半期	2	3	4		◎
		国際経済論 b	2	半期	2	3	4		
		農業政策 a	2	半期	2	3	4		◎
		農業政策 b	2	半期	2	3	4		
		工業政策 a	2	半期	2	3	4		◎
		工業政策 b	2	半期	2	3	4		
		流通政策 a	2	半期	2	3	4		◎
		流通政策 b	2	半期	2	3	4		
		交通論 a	2	半期	2	3	4		◎
		交通論 b	2	半期	2	3	4		
		地域計画論 A	2	半期	2	3	4		◎
		地域計画論 B	2	半期	2	3	4		
		非営利組織論 a	2	半期		3	4		◎
		非営利組織論 b	2	半期		3	4		
		測量学	4	通年	2	3	4		★
		経済学特殊講義 1	2	半期		3	4		

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（政治とメディア研究コース）

必・選	単位 数	科目名	単位	開講期	配当年次	履修 不可 科目	注意事項
選択必修①	全員	政治学基礎	4	通年	1		★
		憲法	4	通年	1		・1年次に全員履修すること。
	基礎 16単位	現代政治分析入門1	2	半期	1 2 3 4		★
		現代政治分析入門2	2	半期	1 2 3 4		
		日本政治入門	4	通年	1 2 3 4		
		現代政治理論入門	2	半期	1 2 3 4		
		行政学・公共政策入門	4	通年	1 2 3 4		★
		国際社会入門	2	半期	1 2 3 4		
		国際関係入門	2	半期	1 2 3 4		
		政治コミュニケーション論入門	2	半期	1 2 3 4		
選択必修②	発展 24単位	政治制度論	4	通年	2 3 4		
		政治過程論	4	通年	2 3 4		
		比較政治学	4	通年	2 3 4		
		政治学方法論1	2	半期	2 3 4	有	
		政治学方法論2	2	半期	2 3 4		・「政治学基礎」「憲法」「現代政治分析入門1」「現代政治分析入門2」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		マス・コミュニケーション論	4	通年	2 3 4		
		ジャーナリズム論	4	通年	2 3 4		
		比較メディア論1	2	半期	2 3 4	有	
		比較メディア論2	2	半期	2 3 4	有	・「マス・コミュニケーション論」「ジャーナリズム論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		数量政治学	4	通年	2 3 4		
		政治心理学	4	通年	2 3 4		
		政治社会学	4	通年	2 3 4		
		政治経済学	4	通年	2 3 4		
		国際関係論	4	通年	2 3 4		2022年度以前に単位を修得した場合、選択科目に算入されます。
選択	52単位以上	基礎演習	4	通年	2		《受講制限》 ・原則として1年次秋に行う履修希望者の募集で許可された2年次のみ履修可能となります。
		演習Ⅰ	4	通年	3		《受講制限》 ・原則として2年次秋に行う履修希望者の募集で許可された3年次のみ履修可能となります。
		演習Ⅱ	4	通年	4		《受講制限》
		政治学特殊講義（1）	2	半期	2 3 4		
		政治学特殊講義（2）	2	半期	2 3 4		
		政治学特殊講義（3）	2	半期	2 3 4		
		政治学特殊講義（4）	2	半期	2 3 4		
		外書講読Ⅰ（英書）	4	通年	3	有	・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅰ A・B（英書）」と「外書講読Ⅰ（英書）」は同時に履修登録できません。
		外書講読Ⅰ A（英書）	2	半期	3	有	
		外書講読Ⅰ B（英書）	2	半期	3	有	
		外書講読（独書）	4	通年	3	有	・隔年開講 《受講制限》 ・4月初回授業に必ず出席して担当教員から許可を得なければ履修できません。
		外書講読（仏書）	4	通年	3	有	
		外書講読（中国書）	4	通年	3	有	
		外書講読Ⅱ（英書）	4	通年	4	有	・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」いずれかの単位を修得済の場合は「外書講読Ⅱ（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ（英書）」の単位を修得済の場合は「外書講読Ⅰ A・B（英書）」履修できません。 ・「外書講読Ⅱ A・B（英書）」と「外書講読Ⅱ（英書）」は同時に履修登録できません。
		外書講読Ⅱ A（英書）	2	半期	4	有	
		外書講読Ⅱ B（英書）	2	半期	4	有	
		ジェンダーと政治	2	半期	2 3 4		
		現代政治理論応用	2	半期	2 3 4		
		政治思想史	4	通年	2 3 4		

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（政治とメディア研究コース）

必・選	単位 数	科目名	単位	開講期	配当年次			履修 不可 科目	注意事項
選択	52 単位 以上	ヨーロッパ政治史	4	通年	2	3	4		
		国際法	4	通年	2	3	4		
		外交・安全保障論	2	半期	2	3	4	有	
		グローバルガバナンス論	2	半期	2	3	4		
		日本政治史	4	通年	2	3	4		
		北米政治論	2	半期	2	3	4		
		中南米政治論	2	半期	2	3	4		
		オセアニア政治論	2	半期	2	3	4		
		東南アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		東アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		南アジア政治論	2	半期	2	3	4		
		ロシア政治論	2	半期	2	3	4		
		ヨーロッパ政治論	2	半期	2	3	4		
		EU政治論	2	半期	2	3	4		
		中東政治論	2	半期	2	3	4		
		アフリカ政治論	2	半期	2	3	4		
		地方行政	4	通年	2	3	4		・「行政学・公共政策入門」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		都市・まちづくり論	4	通年	2	3	4		・「地方行政」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		行政法総論	4	通年	2	3	4		
		行政救済法	4	通年		3	4		・「行政法総論」を履修済み、または同時履修であることが望ましい。
		地方自治法	4	通年	2	3	4		
		民法（総則・物権法）	4	通年	2	3	4		
		刑法総論	4	通年	2	3	4		
		労働法	4	通年		3	4		
		社会政策	4	通年	2	3	4		
		地球環境政治論	2	半期	2	3	4	有	
		比較憲法	4	通年	2	3	4		
		公共政策論	4	通年	2	3	4		
		外交史	4	通年	2	3	4		
		社会学原理	4	通年	2	3	4		
		財政学	4	通年	2	3	4		
		経済原論	4	通年	2	3	4		
		日本法制史	4	通年	2	3	4		
		西洋法制史	4	通年	2	3	4		
		経済政策	4	通年	2	3	4		
		会社法	4	通年	2	3	4		
		英米法	4	通年	2	3	4		
		刑事政策	4	通年	2	3	4		
		経済法	4	通年		3	4		
		国際紛争解決法	4	通年		3	4		
		刑法各論	4	通年	2	3	4		
		民法（債権）	4	通年	2	3	4		
		社会保障法	4	通年		3	4		

専門教育科目（政治学科）

対象：政治学科（政治とメディア研究コース）

必・選	単 位 数	科目名	単 位	開講期	配当年次			履修 不可 科目	注意事項
選 択	52 単 位 以 上	時事英語	2	半期		2	3	4	
		時事問題研究	4	通年		2	3	4	
		実務者講座	2	半期		2	3	4	・「政治学基礎」または「政治学概論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		国際経済論 a	2	半期		2	3	4	
		国際経済論 b	2	半期		2	3	4	○
		農業政策 a	2	半期		2	3	4	
		農業政策 b	2	半期		2	3	4	○
		工業政策 a	2	半期		2	3	4	
		工業政策 b	2	半期		2	3	4	○
		流通政策 a	2	半期		2	3	4	
		流通政策 b	2	半期		2	3	4	○
		交通論 a	2	半期		2	3	4	
		交通論 b	2	半期		2	3	4	○
		地域計画論 A	2	半期		2	3	4	
		地域計画論 B	2	半期		2	3	4	○
		非営利組織論 a	2	半期			3	4	
		非営利組織論 b	2	半期			3	4	○
		世界政治とメディア	2	半期		2	3	4	
		国際関係とメディア	2	半期		2	3	4	
		測量学	4	通年		2	3	4	★
		経済学特殊講義 1	2	半期			3	4	

専門教育科目（政治学科）

4 履修不可対象科目・廃講科目

下表の旧科目名で単位を修得済みの場合、現行科目名を履修することはできません。また、廃講欄に「※」印のある旧科目名は、開講されません。ただし、廃講科目の単位を修得済みの場合、卒業に必要な単位数として算入され、成績表に記載されます。

・政治学科

現行科目名	旧科目名	廃講	修得年度
地球環境政治論	環境政策	※	令和4 (2022) 年度以前
外書講読ⅠA（英書）	外書講読Ⅰ（英書）		令和2 (2020) 年度以前
外書講読ⅠB（英書）			
外書講読ⅡA（英書）	外書講読Ⅱ（英書）		
外書講読ⅡB（英書）			
比較メディア論1	比較メディア論	※	平成31 (2019) 年度以前
比較メディア論2		※	
現行科目無し	現代産業事情Ⅲ	※	
	地方財政論a	※	
	地方財政論b	※	
外書講読（独書）	外書講読Ⅰ（独書）	※	平成29 (2017) 年度以前
	外書講読Ⅱ（独書）	※	
外書講読（仏書）	外書講読Ⅰ（仏書）	※	
	外書講読Ⅱ（仏書）	※	
外書講読（中国書）	外書講読Ⅰ（中国書）	※	
	外書講読Ⅱ（中国書）	※	
外交・安全保障論	安全保障論	※	平成28 (2016) 年度以前
政治学方法論1	政治学方法論	※	
現行科目無し	政治学原論	※	
	現代国家論	※	
	NPO/NGOとメディア	※	

他学部履修科目（政治学科）

1 履修上の注意

(1) 他学部履修科目とは

所属学科以外の学部・学科が、他学部履修科目として公開した専門教育科目の中から、所属学科が履修を認めた授業科目を履修することができます。

(2) 履修方法

①履修年次

3年次以上を対象とします。

②他学部履修制限単位数

卒業までに修得できる単位数は、**16単位以内**（当年度までの修得済科目・当年度の修得見込科目及び不合格科目を含みますが、単位修得放棄科目は除きます）とします。入学時に従前在学した大学で修得した単位（編入学、再入学および転部転科の場合を除く）の認定、留学等による認定の単位数と他学部履修科目の単位数を併せて、60単位を超える履修・修得はできません。

③履修制限

他学部履修する授業科目の単位は、各年次の年間履修制限単位数に含まれます。

④受講制限

他学部履修科目には、科目ごとに定められた履修定員を超える申し込みがあった場合、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定されます。

KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定されます。

⑤修得単位の算入先と科目の認定先

修得した単位は、卒業に必要な専門教育科目の選択科目の単位数に算入されます。KONECO 成績照会（学業成績表を含む）では【専門教育科目：選択】の欄に掲載されます。なお、「算入」の言葉の意味については、第2章＞「卒業必要単位における修得単位算定の流れ」を確認してください。

⑥「開設科目一覧」には当該年度休講の科目も掲載されています。当該年度に開講されている科目については、KONECO の履修登録画面やシラバスを確認してください。

(3) 履修登録の流れ

他学部履修科目を履修する場合、下記の手続きが必要となります。

①他学部履修希望科目を決める

※『他学部履修科目授業時間表』『シラバス』を参照し、開講曜日・時限、授業概要等を確認する。



② KONECO で履修登録する（履修登録申込期間より受付開始）

※履修申込者数が履修定員を超えた場合、KONECO 上で抽選が行われ履修者が決定する。



③履修登録完了

※履修申込者数が履修定員に満たなかった他学部履修科目は、履修訂正・抽選結果確認期間に先着順で申込みができるようになります。

※申し込んだ他学部履修科目の履修を取り消したい場合は、履修訂正・抽選結果確認期間内に KONECO 上で取消を行うこと。



④履修登録内容確定日に、申し込んだ科目が登録されているか KONECO 上で確認する。

(4) KONECO 成績照会画面（学業成績表含む）における他学部履修科目の表示

単位の算入先や他学部履修科目の開講学部にかかわらず、【専門教育科目：選択】の欄へ、「科目名・単位数・評価・修得年度・V(他学部履修に修得であることを示す記号)」が表示されます。

他学部履修科目（政治学科）

2 開設科目一覧

他学部履修科目：法学部政治学科

開講 学部	開講 学科	科目名	単 位	開講期	履修上の注意事項		
文 学 部	社会学 専攻	リスク社会論	2	半期	・隔年開講		
	社会 福祉学 専攻	家庭福祉論	4	通年			
		女性福祉論	4	通年			
経済 学部	経済 学科	日本経済史 a	2	半期	◎	・フレックス B 時間帯で開講されます。 月～金曜日：6・7時限 土曜日：3～7時限	
		日本経済史 b	2	半期			
法 学 部	法律学 科 フレックス A	法律時事英語	4	通年	・隔年開講		
		保険・海商法	4	通年			
	法律学 科 フレックス B	法思想史	4	通年			
		保険・海商法	4	通年			
		倒産処理法	4	通年			
経営 学部	経営 学科	経営史	4	通年			
		経営学史	4	通年			
		国際経済論	4	通年			
		現代マネジメントⅢ	2	半期			
		企業と社会	4	通年			
		イノベーション論	4	通年			
		経営組織論	4	半期			
	市場戦 略 学科	マーケティング史 A	2	半期	◎	・履修不可対象科目 平成30（2018）年度以前に右記科目で単位を修得済の場合は履修で きません。	「マーケティング史」
		マーケティング史 B	2	半期			
グローバ ル・ メディア・ スタディ ーズ 学部	グローバ ル・ メディア 学科	情報保護と社会	2	半期			
		情報メディア開発論	2	半期			

「日本語」・「日本事情」科目（政治学科）

日本語」・「日本事情」科目

1 履修上の注意

(1) 「日本語」科目の履修方法

- ① 「日本語」科目は『外国人留学生』及び日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
なお、「日本語」科目には、『交換留学生』のみ履修可能な科目があります。
- ② 「日本語」科目は、選択必修科目として履修してください。
- ③ 「日本語」科目は、原則1・2年次に履修してください。
- ④ 修得した単位は、卒業に必要な外国語科目の単位数に算入されます。
- ⑤ 外国語科目として代替できる単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されます。
- ⑥ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

(2) 「日本語」科目の卒業に必要な単位数

履修年次	卒業必要単位数
1年次	10
2年次	

(3) 「日本事情」科目の履修方法

- ① 「日本事情」科目は『外国人留学生』及び日本語を母語としない『帰国生』を対象とする科目です。
- ② 修得した単位は、卒業に必要な教養教育科目の選択必修科目の単位数に算入されます。
- ③ 教養教育科目として代替できる単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な広域選択の単位数に算入されません。
- ④ 当該科目の履修を希望する者は、履修登録申込期間に履修登録を行ってください。

(4) 「日本事情」科目の卒業に必要な単位数

科目の区分	卒業必要単位数	履修方法
人文分野	16	「日本事情」科目を含めて、16単位履修すること。
社会分野		
自然分野		
ライフデザイン分野		

「日本語」・「日本事情」科目（政治学科）

2 開設科目一覧

<日本語科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
日本語特講（１）	1	半期	1	2	3	4	・初級～上級
日本語特講（２）	1	半期	1	2	3	4	
日本語特講（３）	1	半期	1	2	3	4	
日本語特講（４）	1	半期	1	2	3	4	
日本語理解（１）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（２）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（３）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（４）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（１）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（２）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（３）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（４）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・中級
日本語理解（１）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級演習
日本語理解（２）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級演習
日本語理解（３）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級演習
日本語理解（４）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・中級演習
日本語発展（１）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（２）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（３）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（４）文章表現を学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（１）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（２）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（３）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（４）プレゼンテーション技術	1	半期	1	2	3	4	・上級
日本語発展（１）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級演習
日本語発展（２）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級演習
日本語発展（３）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級演習
日本語発展（４）キャリアデザインを学ぶ	1	半期	1	2	3	4	・上級演習

交換留学生のみ履修可能。

交換留学生のみ履修可能。

①交換留学生は全ての科目の履修が可能です。※一部専用科目もあります。

② KONECO での履修が可能な科目でも、日本語の理解レベルにより初回授業にて担当教員により受講を制限する場合があります。

<日本事情科目>

科目名	単位	開講期	配当年次				履修上の注意事項
日本事情（１）自然	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅱ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情（２）地理	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅰ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情（３）経済	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅸ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情（４）文化	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅶ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情（５）経営	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅹ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情（６）政治・法律	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅵ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情特講（１）	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅳ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情特講（２）	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅲ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情特講（３）	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅺ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情特講（４）	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情ⅩⅠ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情特講（５）	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅴ」を修得済みの場合は履修できません。
日本事情特講（６）	2	半期	1	2	3	4	令和4（2022）年度以前に「日本事情Ⅷ」を修得済みの場合は履修できません。

教職課程・資格講座（法学部共通）

1 登録可能な教職課程・資格講座

法律学科フレックスA・フレックスBと政治学科で登録可能な教職課程・資格講座は、以下のとおりです。

資格取得のためには、次項で説明する登録手続きを行った上で、課程・講座科目開講科目を履修し、卒業必要単位数以外の単位を修得する必要があります。

教職課程・資格講座名	内容
教職課程	教員免許状の取得を目指します。 以下の条件を満たすことで資格を取得できます。 ①所定の科目の単位を修得 ②学士の学位を有する（大学を卒業する） ③免許申請を行う
学校図書館司書教諭講座	学校教育の充実を目的とした学校図書館の専門職としての資格です。 教職課程と併せて登録する必要があります（「図書館司書」の資格とは異なります）。所定の科目の単位を修得し、申請を行うことで資格を取得できます。
社会福祉主事講座 ※法律学科フレックスBは除く	社会福祉の行政機関において、保護や援助を必要とする人々の相談、指導、援助を行う専門職である「社会福祉主事」の任用資格を取得できます。
社会教育主事講座	社会教育活動を行う者に対し、求めに応じて専門的・技術的な助言と指導を与える専門職員である「社会教育主事」の任用資格（本講座受講に加え、法で定める1年以上の実務経験が必須）及び、「社会教育士」の称号を取得できます。

●取得可能な教員免許状の種類

各学科で取得できる教員免許状は以下のとおりです。

学科	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
法律学科フレックスA	社会	地理歴史 公民
法律学科フレックスB		
政治学科		

2 教職課程・資格講座の登録

教職課程・資格講座は登録制をとっています。登録には以下の手続きが必要です。

1年次4月「教職入門」履修登録

※教職課程希望者のみ。詳細は次々項参照



教職課程・資格講座登録ガイダンスの受講（1年次後期：11月頃）

◎期間・方法等詳細は KONECO 連絡事項にてガイダンス開催の1か月前を目安に配信します。

※ガイダンスについて、授業等で教員から案内は行いません。KONECO の「連絡事項」を欠かさず確認してください。

※ガイダンス未受講者は教職課程・資格講座の登録と履修はできません。



教職課程・資格講座の登録

◎期間・方法等詳細はガイダンスでお知らせします。

期間内に手続きがない場合、教職課程・資格講座の登録と履修はできません。



2年次4月より課程・講座開講科目履修開始

教職課程・資格講座（法学部共通）

3 教職課程

教員免許状を取得するためには、基礎資格（学士の学位）とともに、教育職員免許法に基づいた所定の単位を修得しなければなりません。つまり、卒業に必要な単位数とは別に、教職課程の科目を修得する必要があります。したがって教職課程に登録する学生は、教職に就くという強い意志を持ち、1年次から計画的に履修してください。詳細は教職課程・資格講座登録ガイダンスで説明します。

①以下の科目を1年次に履修してください。修得した単位数は卒業必要単位数に含まれますので、年間履修制限単位数内に収める必要があります。

科目名	開講期	注意事項
教職入門	後期	・教職課程の必修科目です。 ・「教職入門」は、計3か所の曜日・時限に配置されています。 ・授業は、後期（9月）より開始されます。 ・曜日・時限・教場は、KONECO や『授業時間表』で確認してください。 ・令和5（2023）年度以前入学生は、卒業必要単位数に含まれません。（年間履修制限単位数にも含まれません。）

②下記の科目は1年次から履修可能であり、どの教科の免許状を希望する場合でも使用できますので、1年次に履修修得することを強く勧めます。修得した単位数は卒業必要単位数に含まれますので、年間履修制限単位数内に収める必要があります。

なお、履修希望者が定員を超えた場合は、KONECO 上で抽選となります。落選した場合は、再度履修申込を行ってください。

※以下の科目一覧は、令和7（2025）年度入学生が対象です。

科目名	単位数	注意事項
憲法	4	
健康・スポーツ実習	2	
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）	1	
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）	1	・この中から2単位を修得してください。 ・玉川キャンパス開講科目もあるため、特に1年次での修得を勧めています。 ・フレックスBの学生は「健康・スポーツ実習」のみ履修可能です。
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）	1	
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）	1	
ICT リテラシー	2	
データサイエンス・AI 入門	2	・いずれか1科目を修得してください。

③その他の注意事項

転部・転科をした場合は単位認定の関係上、免許状取得のための単位として使用できなくなることがあります。

4 学校図書館司書教諭講座・社会福祉主事講座・社会教育主事講座

1年次で履修できる関連科目はありません。2年次以降計画的に履修してください。詳細は、教職課程・資格講座登録ガイダンスで配付される『教職課程・資格講座履修要項』で確認してください。

学修支援

1 学業不振者への修学指導

4年間で卒業するためには、各年次に計画的に科目を履修し単位を修得していくことが理想とされます。正当な理由なく成績不振に陥り、修得単位数が著しく少ない学生に対しては、学業を奨励するために、保証人宛成績表送付時に単位修得状況に応じたメッセージが記載されます。

●修学指導対象者（学部）

修学指導	①1年次終了時点で、修得単位数が19単位以下の場合、または GPA 値が1.00未満の者
	②2年次終了時点で、修得単位数が39単位以下の者
	③3年次未終了時点で、修得単位数不足により次年度の卒業未了が確定した者
	④その他法学部で指導の必要を認めた者

●修学指導

法学部では、全学での取組の一環として、学業不振学生を対象に、日常の学修状況や生活環境を把握し、教員が面談等により適切な助言・指導を行うことで、対象学生が有意義な学生生活を送ることを手助けするために、修学指導を行っています。

対象となる学生には、教務部より成績表とともに案内いたしますので、指示に従って必ず修学指導を受けてください。

2 オフィスアワーについて

オフィスアワーとは、教員が学業や学生生活に関する相談を受けるために研究室等に待機している時間帯のことです。オフィスアワーの時間帯が決まり次第、大学 HP（在学生専用ページ）・KONECO 等に掲示を行います。

なお、非常勤講師は学内に研究室がありませんので、シラバスや大学 HP の授業時間表等で、教員が来校している曜日・時限を調べ、各自でコンタクトを取ってください。非常勤講師の場合、授業前後の時間に講師控室にいる場合があります。講師控室の場所は、裏表紙の裏面に記載の「事務室・掲示板案内図」で確認してください。

1 大学院進学

法学研究科 公法学専攻

公法学専攻の専門領域は、憲法をはじめとして行政法・刑法・刑事訴訟法・社会保障法・租税法・法哲学・法史学・国際公法である。各自の専門分野を中心に、隣接科目や関連科目を履修し、学際的な研究を展開することができるようにしてある。

修士課程では、学部での学習を基礎に、更に深く広く精緻な方法論・学説・実務の検討に努め、博士後期課程では、各自の専門分野における独自の論理を展開して学会に表明することができる能力を養う。

本学からは、博士後期課程を終えて大学の教員として研究活躍している者もいるが、修士課程を修了して税理士・司法書士・行政書士などの資格を取得し実務活動をしている者や公務員または高校教員として社会貢献している者もいる。

つまり、本学では、研究者希望か実務家希望かという各自の方針に応じた指導をしているので、院生各自の努力姿勢が微妙に影響しあい、幅広い教養のある社会人育成に役立っている。このために、社会人・外国人留学生には特別入学試験制度もある。

しかし、大学院は研究が基本であるので、世界的規模で現象化している疲弊しきった経済活動・宗教的対立ないし民族的対立と殺戮・人類の存亡を左右する環境問題・伝統的文化の衰退など、深刻な事態に陥っている世界情勢のなかで、かかる問題解決に資する巨視的・展望的な公法学の研究が望まれる。そのためには、国内法の国内的研究に終始することなく、諸国の公法学の研究が必須になるので、原書講読による新しい視座の確立が待たれる。

法学研究科 私法学専攻

私法学専攻においては、現代社会の求める現実的な課題に対処し、問題解決のための方策を立てることができるような法律学の研究者及び専門的職業人の養成に主眼を置き、幅広い視野と豊かな応用力を培うことによって、いわゆる「行学一如」の達成をめざしている。

修士課程においては、広い視野に立ち、かつまた精深な学識を身に付け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を有する職業に必要な高い能力を養うことが教育の目的とされており、また博士後期課程においては、法律学に関する専攻分野について自立的な研究活動が可能な、あるいはその他のより高度に専門的な業務に従事するのに必要な、高いレベルの研究能力、及び基礎となる豊かな学識を養うことが、その目的として設定されている。

そのため、本専攻では多彩な講義科目を用意すると同時に、高度の研究指導（演習）を重視したカリキュラムを採用している。具体的には、契約法や物権法、不法行為法、家族法等からなる民法、会社法、手形・小切手法、保険法等からなる商法、私人間の生活関係に関する紛争を解決するための裁判手続を扱う民事訴訟法等の授業科目が設けられている。

また入学時に、各々の研究科目・研究テーマの選定に合わせて、修士論文作成等の指導を受ける教員が決定され、主としてマンツーマン方式により、きめ細かな指導が行われている。その結果、現在にいたるまでに多くの専任教員や非常勤講師等の研究者あるいは税理士等の専門的職業人を輩出している。

なお、院生の論文集として『私法学研究』が1975年以来発行されており、院生の研鑽の場として、利用されている。

両専攻ともに、成績要件を満たす者を対象に「学内推薦制度」があります。詳細は教務部⑤番窓口までお問い合わせください。

キャリア形成

大学院授業料減免制度（学内進学者向け）

駒澤大学大学院受験者のうち、本学卒業生（飛び入学する者を含む）・本学大学院修了生の中から、特に優秀な学生に対し、学費のうち授業料を減免し、勉学を奨励することを目的とします。

○採用条件と減免率

おもな採用条件と授業料減免率は、次のとおりです。

採用種別	入学時（初年次）	
	採用条件	減免率
第1種 （修士）	卒業時の累計 GPA が3.50以上の者	100%
第1種 （博士後期）	修士課程での修得学科平均点が90点以上、 かつ修士論文の平均点（主査1人・副査2人）が90点以上の者	100%
第2種 （修士）	卒業時の累計 GPA が3.00以上の者	50%
第2種 （博士後期）	修士課程での修得学科平均点が90点以上、 又は修士論文の平均点（主査1人・副査2人）が90点以上の者	50%

【注意事項】

- ・専攻ごとに入学定員に応じた採用者数の上限を設けています。
- ・修士課程、博士後期課程共に、大学院入学以前の最終学年の成績に、不合格科目がある者は、対象外となります。
- ・減免制度に採用された者が、2年次以降も継続して減免を受けるための成績に関する条件は、別に定めています。

キャリア形成

2 就職（キャリアセンターの利用）

「キャリアセンター」では、皆さんの就職活動を支援するための各種イベントの開催や個別相談など、様々な支援を行っています。就職支援システム「駒キャリ」では、PC やスマートフォンから求職登録、求人票検索、会社説明会等申込、OB・OG 情報閲覧、活動報告書提出・閲覧、ガイダンス参加申込、キャリア相談予約（個別面談の予約）、面接 BOX 予約（オンライン個別ブース）、進路決定届提出などが行えます。

資料コーナーには、筆記試験・面接対策等の書籍、ビジネス雑誌、公務員・教員の募集要項、地方就職情報、PC 等を用意しています。

キャリアセンターによる主な支援内容は、以下のとおりです。

全学年	個別相談（エントリーシート指導、面接練習等） 外国人留学生向け就職ガイダンス、障がい学生向けガイダンス 警察官・消防官ガイダンス、自治体別教員採用説明会、私学教員ガイダンス 労働法セミナー、マナー講座、スーツ着こなし講座、就活メイク講座 日経新聞から読み取る業界研究講座、会社四季報の見方等
1 年生 2 年生	キャリアガイダンス（前期・後期）、キャリアデザイン講座 公務員ガイダンス、インターンシップ（ICS ※、東商リレーションプログラム） 世田谷プラットフォームによる各種イベント等 ※ ICS（複数大学・複数企業が合同で行う低学年向けインターンシップ）
3 年生	就職ガイダンス、就活集中セミナー、ミニガイダンス、ナビサイト活用セミナー 業界研究講座、合同説明会、OBOG 相談会、内定者相談会 UI ターン就職ガイダンス、県別 UI ターン就職セミナー インターンシップ（大学主催）、キャリアハンドブック配布等
4 年生	合同企業説明会、教員採用試験学内講座、就活集中セミナー ハローワーク求人相談会等
有 料	公務員入門学内講座、公務員試験対策講座、公務員試験学習ツール（WEB） 教員採用試験学内講座、WEB 資格講座（宅建士試験直前講座含む） SPI 型模擬試験、RCC 就職レディネスチェック 就職ゼミ※、エアライン講座※等 ※複数企業の人事採用経験者、実務経験者による実践的な講座

※詳細はキャリアセンターにお問合せ下さい。

※キャリアセンターは、1号館1階にあります。

キャリア形成

3 研究所

研究所	活動内容
経理研究所	グローバル化、情報化、サービス化が急速に進展し、新卒者の就職条件としてより高度な専門能力が要求される今日、職業資格に対する学生の関心が高まっています。このような状況に対応するため、駒澤大学経理研究所では、日商簿記検定試験（3級、2級、1級）の受験指導を行っています。こうした資格があれば、就職活動を比較的に進めることが可能です。また、税理士試験、公認会計士試験に合格する先輩達が増えています。これらの試験へのチャレンジのために会計士・税理士入門コースも設けています。大原学園と提携して現役合格をめざすプログラムが進行中です。 専任教員と専属スタッフが熱心に指導にあたっています。平日だけではなく必要に応じて休日にも利用し、夏季休暇中にも実力向上のために授業を行うコースもあります。なお、本学キャンパス内で日商簿記検定試験が受験できます。 詳細に関しては、経理研究所事務局（深沢校舎1階 03-6381-8905）にお問い合わせいただくか、駒澤大学HPに掲載されている経理研究所のページ（https://www.komazawa-u.ac.jp/research/labo/accounting-institute/）をご参照ください。
法学研究所	法学研究所は、研究部と研修部から構成されています。研究部は、学界法曹界から講師を招いて講演会を開催するなど、法学研究やキャリア形成に必要な様々な活動を行っています。 研修部は、法学への学習・研究意欲をさらに高め、基礎的、実践的な知識やスキルを修得することを目的として、1年次生向けの入門講座（憲法・民法・刑法）、2年次生向けに重要論点を学習する講座（憲法・民法・刑法）、主として3年次生以上に向けた、法科大学院進学や司法試験予備試験、公務員試験や司法書士試験等に対応する講座（主要六法および行政法、短答式・論述式）、さらに全学年を対象とした模擬裁判演習講座を展開しています。上記の講座は、順を追って法学の知識・スキルを深め、民間企業で活躍したい諸君や学部試験対策にとっても、有益な講座内容になっています。 本学の在学生・卒業生であれば、所定の手続きを踏むことにより、誰でも研修部会員になることができます。また研究所内の特別研究室では、専用の机を利用して、勉強に専念することができます（ただし、特別研究室を利用するためには、入室面接を受ける必要があります）。 詳細に関しては、法学研究所事務局（深沢校舎1階 03-6381-8900）にお問い合わせいただくか、駒澤大学HPに掲載されている法学研究所のページ（https://www.komazawa-u.ac.jp/research/labo/law-research-institute/）をご参照ください。
ジャーナリズム・政策研究所	駒澤大学ジャーナリズム・政策研究所（通称：ジャナ研）は、駒澤大学深沢キャンパスを拠点とする研究所で、ジャーナリズムや政策に関する総合的研究と、関連分野へ進みたい学生諸君に対する特別指導をおこなっています。 ジャナ研に入所すると学生は「ジャナ研講座」と学生活動の2つの特別指導を受けることが可能です。「ジャナ研講座」では、新聞社・テレビ局・出版社の現役・OB/OGやフリーランスのジャーナリストの方々が多彩な講座をおこない、学生の関心に答えています（下部の講座一覧を参照ください）。一方、学生活動は、新聞やフリーペーパーの発行、映像制作やディベート活動などを通じた自主的な学びが自治的におこなわれています。年間発行部数5万部以上、大学スポーツ新聞では屈指の存在である『駒大スポーツ新聞（コマスポ）』もその学びの一環です。コマスポは、企画から取材、編集、広告取りまでのほぼすべてを学生たちが自主的におこなっています。また、「KOMASTRY」などのフリーペーパーの発行や映像制作、ディベートやプレゼンテーション活動も盛んにおこなわれています。 この他にも公開講演会や研究会などの多彩なプログラムを通じて、われわれジャナ研は激変するメディア環境におけるジャーナリズムや政策を考え、未来に生きる次世代を育てていければと思っています。 ＜2024年度ジャナ研講座一覧＞ 「法とジャーナリズム」「学生・社会人のための出版と編集 2024」「新聞記事と生成AIに学ぶ文章教室」「新聞編集の基礎」「メディアリテラシー向上講座～実例から探るメディアのウソとホント」「コラムを書きながら考えたこと」「企業と商品開発」「取材現場をフィールドワーク＋言葉で遊ぶか学びかディベート実践講座」「あらためてテレビドキュメンタリーの神髄に触れてみませんか」 なお、学生の入所試験は4月の下旬に、小論文及び面接によって行われます。 詳細に関しては、ジャーナリズム・政策研究所事務局（深沢校舎1階 03-6381-8901）にお問い合わせいただくか、インターネットの本研究所HP（https://www.komazawa-u.ac.jp/research/labo/kjps/）をご参照下さい。

※本学にはこの他に、「仏教経済研究所」、「応用地理研究所」、「禅研究所」、「仏教文学研究所」、「司法研究所」、「医療健康科学研究所」、「駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ・ラボラトリ」、「現代応用経済学科・ラボラトリ」といった研究所があります。詳細は、本学ホームページを参照してください。

4 国家試験について

試験についての詳しい情報は、下記のURLを参照のこと。

＜国家試験＞

司法試験	法務省	http://www.moj.go.jp/shikaku_saiyo_index1.html
司法書士試験	法務省	http://www.moj.go.jp/shikaku_saiyo_index3.html
行政書士試験	（財）行政書士試験研究センター	https://gyosei-shiken.or.jp/
宅地建物取引士	（財）不動産適正取引推進機構	http://www.retio.or.jp/exam/takken_shiken.html
社会保険労務士	全国社会保険労務士会連合会 試験センター	http://www.sharosi-siken.or.jp/

＜国家公務員試験＞

国家公務員総合職試験 国家公務員一般職試験（大卒程度試験）	人事院	http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/ippan/saiyo_ippan02.html
裁判所職員採用総合職試験（裁判所事務官） 裁判所職員採用一般職試験（大卒程度試験）	最高裁判所	http://www.courts.go.jp/saiyo/index2.html
検察事務官	* 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）合格者及び国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）合格者に対し、各検察庁において面接を行うなどした上で、検察事務官への採用を行っています。問い合わせは、各検察庁へ。	

1 専任教員紹介・研究室

法学部の専任教員の研究室は、第2研究館にあります。不明な点は、第2研究館1階の「受付窓口」に問い合わせてください。

●専任教員一覧（五十音順）

◆法律学科

漢字氏名	カナ氏名
井上 健一	イノウエ ケンイチ
王 志安	オウ シアン
上田 理恵子	ウエダ リエコ
岡田 好弘	オカダ ヨシヒロ
奥 忠憲	オク タダノリ
折橋 洋介	オリハシ ヨウスケ
熊谷 芝青	クマガイ シセイ
小嶋 崇弘	コジマ タカヒロ
坂本 達也	サカモト タツヤ
篠原 信貴	シノハラ ノブタカ
高田 実宗	タカダ サネムネ
高橋 洋城	タカハシ ヒロキ
竹中 智香	タケナカ チカ
富樫 景子	トガシ ケイコ
中田 英幸	ナカタ ヒデユキ
中濱 義章	ナカハマ ヨシアキ
原口 伸夫	ハラグチ ノブオ
原田 啓一郎	ハラダ ケイイチロウ
平川 英子	ヒラカワ エイコ
福田 誠治	フクダ セイジ
間瀬 清史	マブチ キヨシ
三浦 康平	ミウラ コウヘイ
三宅 雄彦	ミヤケ ユウヒコ
吉田 有希	ヨシダ ユキ
向田 正巳	ムカイダ マサミ

◆政治学科

漢字氏名	カナ氏名
内海 麻利	ウチウミ マリ
梅川 葉菜	ウメカワ ハナ
逢坂 巖	オウサカ イワオ
君塚 直隆	キミヅカ ナオタカ
清滝 仁志	キヨタキ ヒトシ
五ノ井 健	ゴノイ ケン
田丸 大	タマル ダイ
崔 佳榮	チェ カエイ
富崎 隆	トミサキ タカシ
中野 裕二	ナカノ ユウジ
三竹 直哉	ミタケ ナオヤ
三船 恵美	ミフネ エミ
村井 良太	ムライ リョウタ